Canon

LASER SHOT

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1710

ＬＩＰＳ機能ガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

プリンタを設置するには パソコンと接続するには オプション品を取り付けるには	設置ガイド
基本的な使いかたを知るには 困ったときには	ユーザーズガイド
プリンタドライバをインストールするには 印刷するには 添付ソフトウェアの使いかたを知るには	LIPS ソフトウェアガイド
ネットワーク環境で使用するには	ネットワークガイド
操作パネルを使ってプリンタを設定するには	LIPS 機能ガイド（本書）
Webブラウザからプリンタを操作・設定するには	リモート UIガイド CD-ROM

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

● 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品と異なる場合があります。

CD-ROM このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

LIPS機能ガイドの構成について

動作モードメニュー、ユーティリティメニューから出力できるリストの内容などについて説明しています。

- 巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。
  各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
- 本製品に付属のソフトウェア「NetSpot」を使い、パソコンからリモートでプリンタを設定する場合は、添付の「LIPSソフトウェアガイド」もお読みください。
- 本製品のリモートUIを使い、パソコンからリモートで設定や管理を行う場合は、添付の「リモートUIガイド」（CD-ROM）もお読みください。
- ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

第3章　共通セットアップメニューの設定項目

第5章　セットアップ以外のメニューの設定項目

第6章　付録

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や、操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、キー名称を以下のように表しています。

• 操作パネル上のキー ....[オンライン]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating systemをWindowsと表記しています。

Extended Unix CodeをEUCと表記しています。

LASER　SHOT　LBP-1710 を LBP-1710 と表記しています。

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。

LASER SHOTは、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Apple、Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

IBMは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

HP、HP-GLは、米国Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

Unixは、X/Open Company, Ltd.が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

下記の書体は米国Bitstream Inc.よりライセンスを受けています。

American Garamond Bold, American Garamond Bold Italic, American Garamond Italic, American Garamond Roman,Bitstream Cataneo Bold, Bitstream Cataneo Bold Swash, Bitstream Cataneo Light, Bitstream Cataneo Light Swash, Bitstream Cataneo Regular, Bitstream Cataneo Regular Swash,Bitstream Cooper Black, Bitstream Cooper Black Italic, Bitstream Cooper Black Outline, Bitstream Roundhand Regular, Bitstream Roundhand Black, Bitstream Roundhand Bold,Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Italic, Bodoni Roman, Century Oldstyle Bold, Century Oldstyle Italic, Century Oldstyle Roman, Century Schoolbook Bold, Century Schoolbook Bold Italic, Century Schoolbook Italic, Century Schoolbook Roman,Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, ITC Zapf Dingbats, Clarendon Black, Clarendon Bold, Clarendon Roman, Cloister Black Openface, Cloister Black Regular, Commercial PI Regular, Commercial Script Regular, Dutch 801 Extra Bold, Dutch 801 Extra Bold Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Regular, Dutch 801 Roman, Exotic 350 Demi-Bold, Exotic 350 Bold, Exotic 350 Light,Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique,
Goudy Oldsyle Extra Bold, Goudy Oldstyle Handtooled, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Oldstyle Bold, Goudy Oldstyle Bold Italic, Goudy Oldstyle Roman, Holiday PI,Poster Bodoni Italic, Poster Bodoni Roman, Prima Sans Bold, Prima Sans BT, Prima Serif Bold, Prima Serif BT, Prima Mono Bold, Prima Mono BT, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Ribbon 131 Bold, Ribbon 131 Regular, Serifa Black, Serifa Bold, Serifa Bold Condensed, Serifa Italic, Serifa Light, Serifa Light Italic, Serifa Thin, Serifa Thin Italic, Serifa Roman, Snowcap Regular, Staccato 222, Staccato 555,Symbol, Swiss

721 Black Extended, Swiss 721 Black Outline, Swiss 721 Black Rounded, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Condensed, Swiss 721 Bold Condensed Italic, Swiss 721 Bold Extended, Swiss 721 Bold Italic, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Bold Outline, Swiss 721 Bold Rounded, Swiss 721 Condensed, Swiss 721 Condensed Italic, Swiss 721 Extended, Swiss 721 Italic, Swiss 721 Light, Swiss 721 Light Condensed, Swiss 721 Light Condensed Italic, Swiss 721 Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Swiss 721 Oblique ,Swiss 721 Thin, Swiss 721 Thin Italic, Swiss 721 Roman, Symbol Proportional Regular, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Bold Italic, Zapf Humanist 601 Italic, Zapf Humanist 601 Roman, Zapf Humanist 601 Ultra, Zapf Humanist 601 Ultra Italic

下記の書体はInternational Typeface Corporationの商標です。

ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™ W3、平成明朝体™ W5、平成明朝体™ W7、平成明朝体™ W9、平成角ゴシック体™ W5、平成角ゴシック体™ W7、平成角ゴシック体™ W9を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

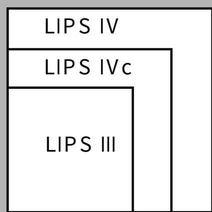
本製品が対応しているコントロール
コマンドについて

標準対応しているコントロールコマンドについて

本製品は標準でLIPSコントロールコマンドに対応しています。
コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、パソコンのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

本製品が標準で対応しているLIPSコントロールコマンドは、LBP Image Processing System の略で、キヤノンのページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。

LIPSには、現在LIPS II、LIPS II$^+$、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVのバージョンがあります。これらのうち本製品では、LIPS II$^+$、LIPS III、LIPS IVに対応しています。



* LIPS II$^+$対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行ったプリントとは解像度が異なります。

* LIPS IVc対応アプリケーションソフトからも本製品でプリントすることができますが、解像度の違いにより、プリント結果の見た目も異なります。

＊本製品をN201、ESC/P、IBM5577、FMPR359、N5273、HP-GLなどの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロールROMが必要です。

コントロールコマンドの動作モード

本製品は、標準のLIPSモードの他に、オプションでN201やESC/Pなどのエミュレーションモードのコントロールコマンドにも対応しています。

それぞれのコントロールコマンドを認識してプリントできる状態にするには、「動作モード」を各コントロールコマンドに対応させる必要があります。LIPS のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPS モード」、オプションのエミュレーションモードのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするにはそれぞれのエミュレーションモードに切り替えます。

本製品では、操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。

詳しくは「動作モードメニューの設定項目」（→P.5-4）をご覧ください。

メニュー機能の使いかた

1

CHAPTER

プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、
ディスプレイの見かたについて説明します。

メニュー機能

メニュー機能とは

プリント時には、プリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。

しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じてプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の 3 種類があります。

- プリンタの操作パネルで設定する方法→プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。
- 本プリンタに付属のソフトウェア、「NetSpot」で設定する方法→操作パネルで行う設定とほぼ同様の設定が、パソコン側から行うことができます。
- 「リモートUI」で設定する方法→操作パネルで行う設定の一部が、パソコン側から Webブラウザを使用して行うことができます。

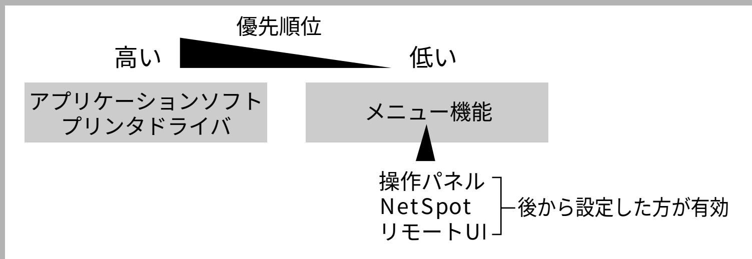
本書では操作パネルでメニュー機能を設定する場合に限って説明します。「NetSpot」や「リモート UI」で設定する方法については「LIPS ソフトウェアガイド」および「リモート UIガイド」をご覧ください。

メモ

- メニュー機能の設定内容は、通常は電源を切っても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって電源を入れなおしても、電源を切る前と同じ設定で起動します

●設定の優先順位

メニュー機能とアプリケーションソフトやプリンタドライバとで、同じ設定項目がある場合には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とNetSpotやリモートUIで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。



プリンタドライバや NetSpot、リモート UI は本プリンタに付属しています。操作については、「LIPSソフトウェアガイド」および「リモートUIガイド」をご覧ください。

設定項目によっては、プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

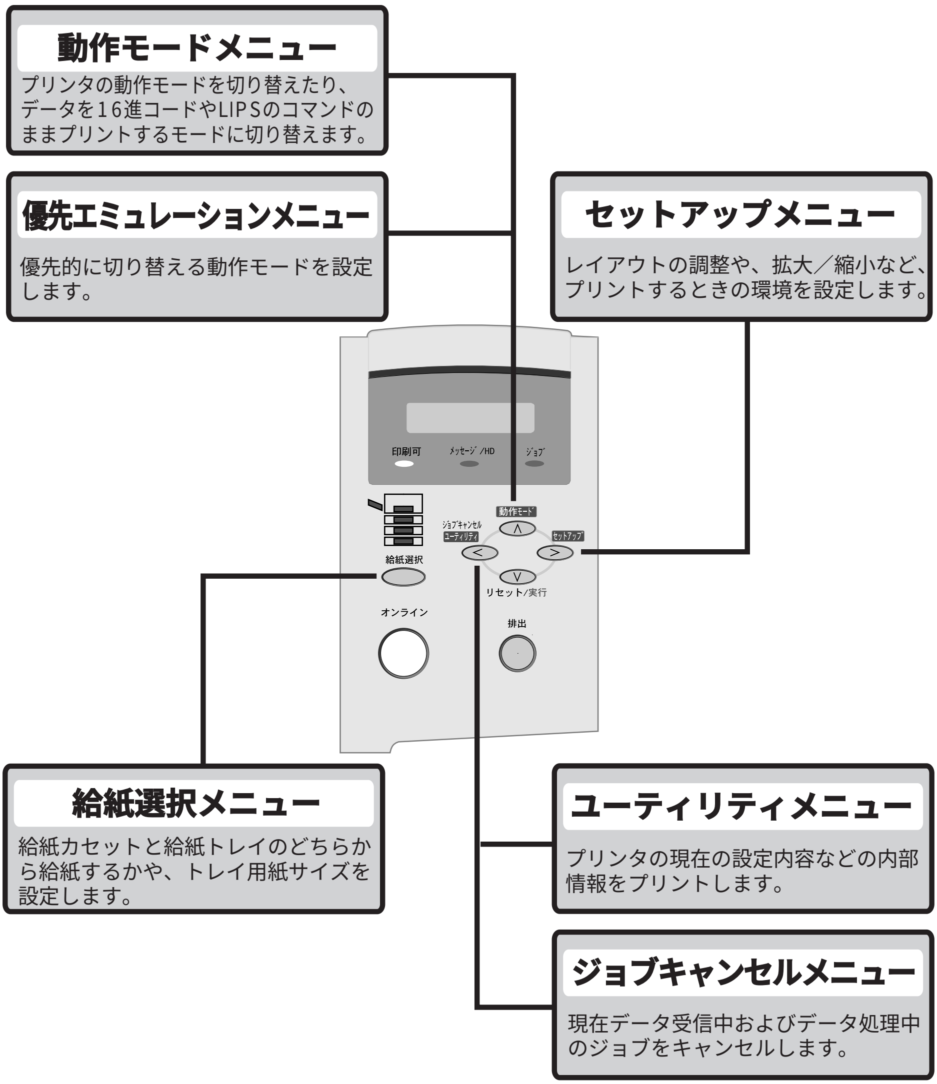
メニューの種類

メニューには、下の図で示した6種類があります。

それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルの以下のキーを押して、ディスプレイに表示します。

各メニューの機能と構造および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（→ P.2-1）をご覧ください。

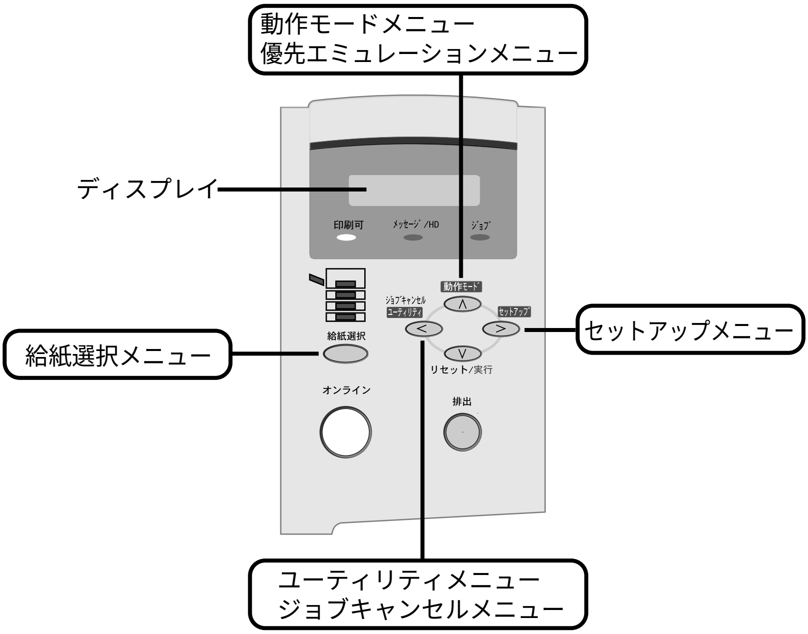
また、各メニューの内容については、「共通セットアップメニューの設定項目」（→P.3-1）、「LIPS専用セットアップメニューの設定項目」（→P.4-1）、「セットアップ以外のメニューの設定項目」（→P.5-1）をご覧ください。



操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、[動作モード]、[セットアップ]、[ユーティリティ］／［ジョブキャンセル]、［給紙選択］には、メニューを表示する機能があります。



ひとつのキーが 2 つのメニューに割り当てられている場合は、キーを押す時間の長さやプリンタの状態によって、どちらのメニューが表示されるかが決まります。

メモ

- ［ユーティリティ］／［ジョブキャンセル］は、オフライン状態で有効ですが、ジョブランプが消灯した状態では［ユーティリティ］として、ジョブランプが点灯または点滅した状態（ジョブのデータ処理中またはデータ受信中）では［ジョブキャンセル］としてはたらきます。

各キーの機能は次のとおりです。

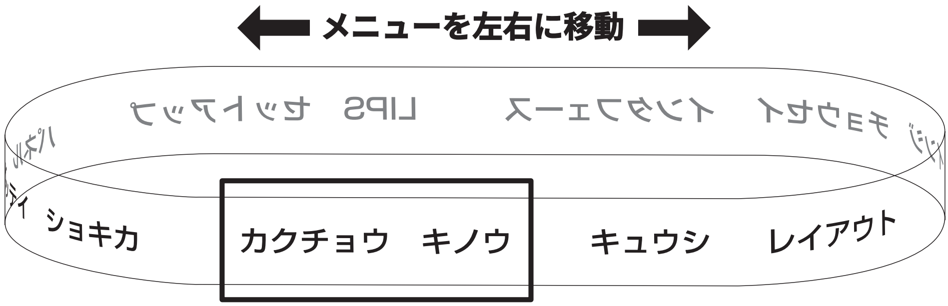
キー	機能	
	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。 キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。本文中では［オンライン］と表記します	
	オフライン状態に切り替えた直後	**メニューの表示中**
	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［>］と表記します。
	動作モードメニューまたは優先エミュレーションメニューを表示します。本文中では［動作モード］と表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では［∧］と表記します。
	ジョブランプが消灯している状態のときは、ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。 ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）のときは、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［<］と表記します。
	１秒以上押すと、ソフトリセットを行います。 ５秒以上押すと、ハードリセットを行います。本文中では ［リセット／実行］と表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［∨］と表記します。
	用紙を強制的に排出します。	—
	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。	—

ディスプレイの見かた

メニューの構造

メニューは下の図のように、1 つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されます。したがって、[<] や [>] を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。



メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の 2 つの条件を満たしている状態です。

①ジョブランプとメッセージ/HD ランプが消灯している

②ディスプレイに「00 ■■■■」のメッセージが表示されている

例）

LIPS モードの場合のプリント可能表示

```
00  LIPS          A4
```

動作モード自動選択*の場合のプリント可能表示

```
00  インサツ  カノウ    A4
```

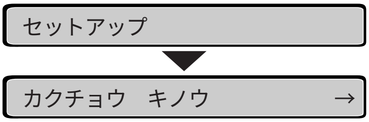
*動作モード自動選択は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ設定できます。

ディスプレイの見かた

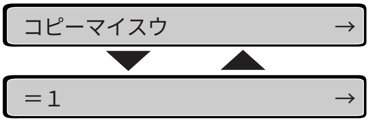
ディスプレイの表示は１行（16文字）です。

キーを押してメニューを表示したあと、自動的にそのメニューの最初の階層の項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。



メニューの一番下の階層を表示したあと、何も操作を行わないと、自動的にひとつ上の階層の項目と現在選択されている階層の項目が、交互にディスプレイに表示されます。



表示中の設定値がこれまでメモリ（NVRAM）に記憶されていた設定と同じ場合は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

メニューの機能と操作

2

CHAPTER

メニューの構造とプリンタの操作パネルでプリント環境を設定する方法について説明します。

共通セットアップメニューの機能と操作

共通セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューの機能

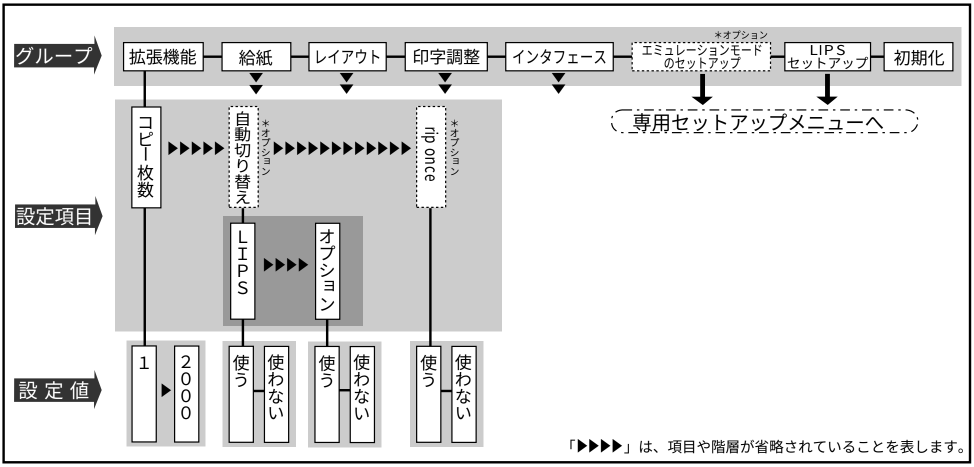
共通セットアップメニューでは、印字する位置や、文字の種類、パソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。

通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタの共通セットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトを使用しているときや、MS-DOS のコマンドで直接プリントするときなども、プリンタの共通セットアップメニューでプリント環境を設定します。

共通セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。

グループの階層で「LIPS セットアップ」やオプションのコントロール ROM によるエミュレーションモードを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。



メモ

- 項目によっては、上図の「拡張機能」グループの「自動切り替え」のように、設定項目の階層が2 つに分かれているものがあります。
- 「初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→ P.2-19）をご覧ください。

- 動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPSやオプションのエミュレーション）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。
- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM の装着時やハードディスクが使用可能な場合にのみ、追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロール ROM の取扱説明書をご覧ください。

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、印字調整グループの解像度の項目を「クイック」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 **オフライン状態に切り替える**	**[オンライン］を押す**
2 **セットアップメニューを表示する** セットアップ カクチョウ　キノウ　→	**[セットアップ］を押す** セットアップメニューが表示されます。
3 **グループを選択する** 「印字調整」グループを選択した場合 インジチョウセイ　→	**[>］または［<］を押す** 目的のグループが表示されます。
4 **設定項目を表示 / 選択する** 「解像度」を選択した場合 カイゾウド　→	**[V］を押す** 選択したグループの設定項目が表示されます。 **[>］または［<］を押す** 目的の設定項目が表示されます。
5 **設定値を表示 / 選択する** 「クイック」を選択した場合 クイック　→	**[V］を押す** 選択した設定項目の設定値が表示されます。 **[>］または［<］を押す** 目的の設定項目が表示されます。
6 **選択した値を確定する**	**[V］を押す**

7 オンライン状態に戻す

［オンライン］を押す

メモ

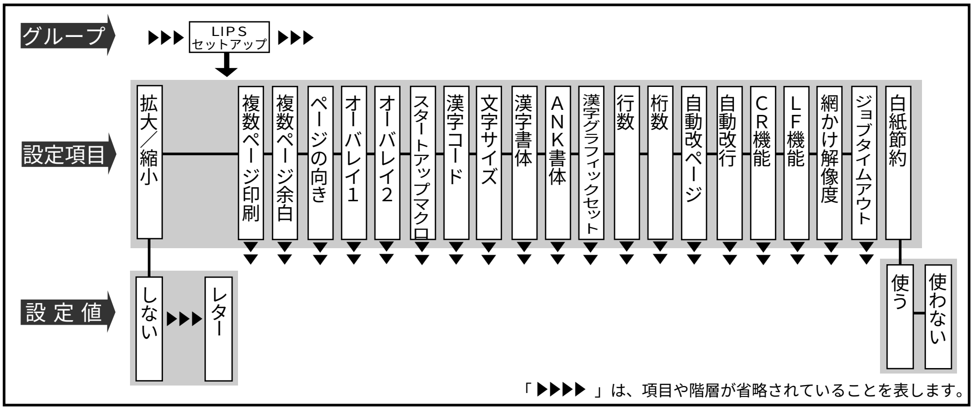
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ/HDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［∧］を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。
- グループの階層で、「LIPS セットアップ」を選択した場合は、「LIPS 専用セットアップメニューの機能と操作」（→P.2-5）をご覧ください。
- 項目によっては、設定項目の階層が2つの階層に分かれている場合があります。
- 「初期化」の機能は、グループの下の階層がありません。初期化の操作方法については「セットアップメニューの初期化」（→P.2-19）をご覧ください。

LIPS専用セットアップメニューの機能と操作

LIPS専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPSセットアップ」を選択すると、LIPS専用セットアップメニューに移行します。

LIPS専用セットアップメニューは､「設定項目」と「設定値」の2つの階層に分かれています。



LIPS専用セットアップメニューの操作の流れ

LIPS専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の2つの階層で、目的の項目を選択します。

ここでは、LIPS専用セットアップメニューの「複数ページ印刷」の項目を「2ページ（左）」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 セットアップメニューを表示する セットアップ ▼ カクチョウ　キノウ　→	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。

3　グループで［LIPSセットアップ］を選択する

ＬＩＰＳ　セットアップ　→

［>］または［<］を押す

4　設定項目を表示する

カクダイ／シュクショウ　→

［∨］を押す

LIPSセットアップの設定項目が表示されます。

5　設定項目を選択する

「複数ページ印刷」を選択した場合

フクスウページインサツ　→

［>］または［<］を押す

目的の設定項目が表示されます。

6　設定値を表示する

＝シナイ　→

［∨］を押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7　設定値を選択する

「2ページ（左）」を選択した場合

２ページ（ヒダリ）　→

［>］または［<］を押す

目的の設定値が表示されます。

8　選択した値を確定する

［∨］を押す

9　オンライン状態に戻す

［オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ /HD ランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［∧］を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

動作モードメニューの機能と操作

動作モードメニューの機能と構造

動作モードメニューの機能

動作モードメニューでは、プリンタが動作するモードを設定することができます。

オプションのコントロールROMを装着しているときは、パソコンから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか、LIPS モードやエミュレーションモードに動作モードを固定してプリンタを使用するかを設定できます。

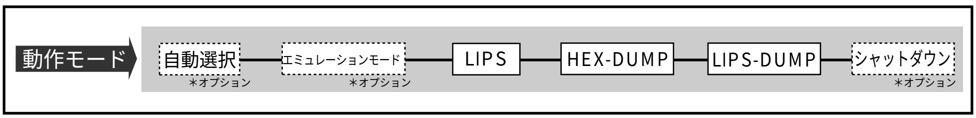
オプションのコントロール ROM を装着していないときは、動作モードは LIPS モードのみなので、ここで設定する必要はありません。

また、動作モードメニューでは、データを文字や図形に変換せずに、16 進コードや LIPS のコントロールコマンドの状態でプリントするモードに切り替えることもできます。ハードディスクの機能を停止させて安全に電源を切れるようにする「シャットダウン」機能も動作モードメニューにあります。

詳しい項目の内容については「動作モードメニューの設定項目」（→ P.5-4）をご覧ください。

動作モードメニューの構造

動作モードメニューの階層は１つです。



メモ
- 点線枠の項目は、オプションのコントロールROMの装着時やハードディスクが使用可能な場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。

動作モードメニューの操作の流れ

動作モードメニューは、「動作モード」の階層で目的の項目を選択します。

ここでは、オプションのコントロールROMが装着されている状態で、動作モードを「LIPS」に切り替える手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 動作モードメニューを表示する ドウサ　モード =ジドウ　センタク　→	[動作モード] を押す 動作モードメニューが表示されます。
3 動作モードを選択する 「LIPS」を選択した場合 LIPS　→	[>] または [<] を押す 目的の動作モードが表示されます。
4 動作モードを確定する	[∨] を押す
5 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ /HD ランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で [オンライン] を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

優先エミュレーションメニューの機能と操作

優先エミュレーションメニューの機能と構造

優先エミュレーションメニューの機能

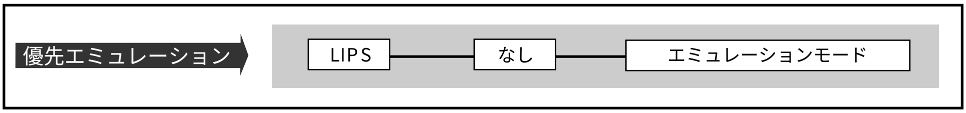
優先エミュレーションメニューでは、動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

オプションのコントロールROMが装着されている場合のみ表示されます。

詳しい項目の内容については「優先エミュレーションメニューの設定項目」(→ P.5-7)をご覧ください。

優先エミュレーションメニューの構造

優先エミュレーションメニューの階層は1つです。



メモ
- 優先エミュレーションメニューは、オプションのコントロールROMが装着されている場合のみ表示されます。

優先エミュレーションメニューの操作の流れ

優先エミュレーションメニューは、「優先エミュレーション」の階層で目的の項目を選択します。

ここでは、優先エミュレーションモードを「なし」に切り替える手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**［オンライン］を押す**
2	**優先エミュレーションメニューを表示する** ユウセン　エミュレーション ＝LIPS　→	**［動作モード］を約3秒押す** 優先エミュレーションメニューが表示されます。
3	**優先エミュレーションを選択する** 「なし」を選択した場合 なし　→	**［>］または［<］を押す** 目的の優先エミュレーションが表示されます。
4	**優先エミュレーションを確定する**	**［∨］を押す**
5	**オンライン状態に戻す**	**［オンライン］を押す**

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ /HD ランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止して、オンライン状態に戻ります。

ユーティリティメニューの機能と操作

ユーティリティメニューの機能と構造

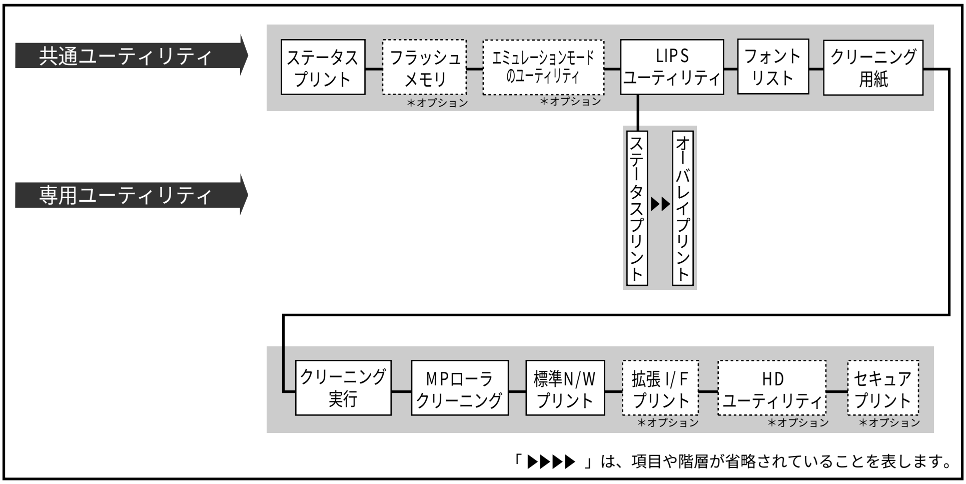
ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。

詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューの設定項目」（→ P.5-8）をご覧ください。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、オプションのエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ」と、各動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ」の 2 つの階層に分かれています。



メモ

- 点線枠の項目は、オプションのコントロールROMの装着時やハードディスクが使用可能な場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- 動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPS など）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティを設定することはできません。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューは、「共通ユーティリティ」と「専用ユーティリティ」の 2 つの階層で目的の項目を選択します。専用ユーティリティは、共通ユーティリティの階層で「LIPS ユーティリティ」を選択した場合に表示されます。

ここでは、「LIPS ユーティリティ」の「フォントリスト」をプリントする手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**[オンライン]を押す**
2	**ユーティリティメニューを表示する** ユーティリティ ▼ ステータス　プリント　→	**[ユーティリティ]を押す** ユーティリティメニューが表示されます。
3	**共通ユーティリティを選択する** 「LIPS　ユーティリティ」を選択した場合 ＬＩＰＳ　ユーティリティ　→	**[>]または[<]を押す** 目的の共通ユーティリティメニューが表示されます。
4	**専用ユーティリティを表示する** ステータス　プリント　→	**[∨]を押す** 専用ユーティリティが表示されます。
5	**専用ユーティリティを選択する** 「フォントリスト」を選択した場合 フォント　リスト　→	**[>]または[<]を押す** 目的の専用ユーティリティメニューが表示されます。
6	**選択した項目を確定する**	**[∨]を押す** フォントリストがプリントされます。
7	**オンライン状態に戻す**	**[オンライン]を押す**

メモ

- 専用ユーティリティ（LIPS ユーティリティなど）を選択しなかった場合は、操作の手順４～５の設定はありません。
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ/HDランプが消灯している状態です。
- 操作の途中、またはリストのプリント中に［オンライン］を押すと、操作またはプリントを中止して、オンライン状態に戻ります。
- 操作の途中で［∧］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- LIPS のオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- ジョブキャンセルの処理は約2秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。
- ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止たいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますのでご注意ください。
- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされない場合があります。また、パスワード入力前のセキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブはキャンセルされません。セキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブは、リモートUIやNetSpotなどで削除してください。（→リモートUIガイド、LIPSソフトウェアガイド）
- オフライン状態で、かつジョブランプが消灯している場合、［ジョブキャンセル］／［ユーティリティ］は、［ユーティリティ］として動作します。

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

	操作の手順	キー操作
1	ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	**［オンライン］を押す** キャンセルしたいジョブがデータ処理中またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯または点滅している状態で操作します。
2	ジョブをキャンセルする 03　ジョブ　キャンセル	**［ジョブキャンセル］を押す** メッセージが表示されると同時にオンライン状態になります。 ジョブキャンセル状態が約2秒間続き、ジョブのキャンセル処理が終了すると、プリント可能な状態に戻ります。
		プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、次のメッセージが表示されます。 00　ジョブ　スキップ ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ
- ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「ヒョウジュン　ネットワーク」など）がディスプレイに表示されます。

給紙選択メニューの機能と操作

給紙選択メニューの機能と構造

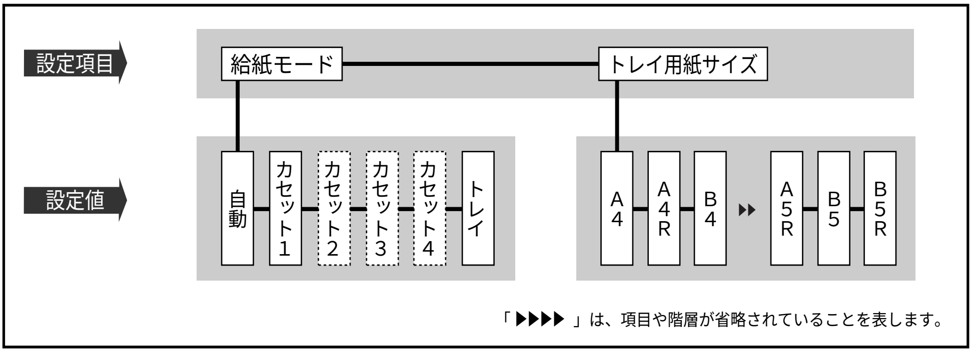
給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは給紙トレイの用紙を使ってプリントするかやトレイの用紙サイズを選択できます。給紙先を選択した場合は、選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

詳しい項目の内容については「給紙選択メニューの設定項目」（→ P.5-13）をご覧ください。

給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は２つの階層に分かれています。



メモ
- 点線枠の項目は、オプションのペーパーフィーダを装着している場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- トレイ用紙サイズについては、共通セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューは、設定項目と設定値の 2 つの階層があります。それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、トレイ用紙サイズの項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順		キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン］を押す
2	給紙選択メニューを表示する キュウシ　モード　→	[給紙選択］を押す 給紙選択メニューが表示されます。
3	設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択した場合 トレイ　ヨウシ　サイズ　→	[>］または［<］を押す 目的の項目が表示されます。
4	設定値を表示する ＝A４　→	[給紙選択］または［V］を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
5	設定値を選択する 「B5」を選択した場合 B５　→	[給紙選択］または［>］、[<］を押す 目的の設定値が表示されます。
6	選択した値を確定する	[V］を押す
7	オンライン状態に戻す	[オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージ /HD ランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値で設定されます。
- 給紙モードの「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」はオプションの 250 枚ペーパーフィーダPF-65を装着している場合にのみ表示されます。

セットアップメニューの初期化

セットアップメニュー初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**[オンライン] を押す**
2	**セットアップメニューを表示する** セットアップ カクチョウ　キノウ　→	**[セットアップ] を押す** セットアップメニューが表示されます。
3	**グループで「パネル設定初期化」を選択する** パネル　セッテイ　ショキカ　→	**[>] または [<] を押す**
4	**初期化を実行する** ジッコウ　シマスカ？　↓	**[∨] を押す** 確認メッセージが表示されます。
5	**選択した値を確定する**	**[∨] を押す** 初期化の実行中は「ショキカ　チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。
6	**オンライン状態に戻す**	**[オンライン] を押す**

重要

- 初期化の最中に電源を切らないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。
- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカチュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- 共通セットアップメニューのインタフェースグループの「標準（拡張）ネットワーク」の項目は初期化されません。

共通セットアップメニューの設定項目

3
CHAPTER

共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明します。

共通セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」が付いている項目や設定値は、オプションの有無で表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

＜拡張機能グループ＞　→P.3-7

設定項目	設定値	内容
コピー枚数	**1** ～ 2000	プリントの部数を設定します。
タイムアウト	5～**15**～300ビョウ、シナイ	動作モード自動切り替えのタイマーを設定します。
スリープモード	**15フン**、30プン、60プン	プリンタを使わないときに消費電力を節約するタイマーを設定します。
ブザー	**1カイ**、レンゾク	エラー時のブザーの鳴りかたを設定します。
警告表示	**スル**、シナイ	警告時のメッセージを表示するかどうかを設定します。
トナー節約	**ツカワナイ**、ツカウ	トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。
トナー濃度	1 ～ **4** ～ 8	プリントするときの印字濃度を調整します。
警告処理	**ケイゾク**、テイシ	トナーが残り少なくなった場合に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。
自動エラースキップ	**ツカワナイ**、ツカウ	エラー時も自動的にプリントを続行するかどうかを設定します。
表示言語	**ニホンゴ**、ENGLISH	ディスプレイの表示言語を設定します。
自動切り替え*	LIPS：**ツカウ**、ツカワナイ オプション：**ツカウ**、ツカワナイ	LIPS、オプションの各エミュレーションについて、動作モード自動切り替えの対象にするかどうかを設定します。
ハードディスク*	**ツカワナイ**、ツカウ	オプションのハードディスクを装着している場合に特有の機能を使うかどうかを設定します。
割り込み印刷許可*	**スル**、シナイ	印刷データの割り込みの機能を使うかどうかを設定します。
セキュアプリント消去*	**1ジカン**、2ジカン、3ジカン、6ジカン、12ジカン、24ジカン、	セキュアプリントのデータを消去する時間を設定します。

rip once* （リップワンス）	**ツカウ**、ツカワナイ	複数部数をプリントするときに便利な rip once（リップワンス）機能を使うかどうかを設定します。

＜給紙グループ＞　→P.3-13

設定項目	設定値	内容
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R	トレイ給紙時の用紙サイズを設定します。
デフォルト用紙サイズ	**A4**、B4、A3、B6、A5、B5	プリンタの初期状態の処理サイズを設定します。
用紙の向き	**ジドウ**、タテオクリ、ヨコオクリ	用紙の置きかたを設定します。
トレイ優先	**シナイ**、スル	自動給紙の場合に、給紙トレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。
自動選択	トレイ：**ツカウ**、ツカワナイ カセット1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット2*：**ツカウ**、ツカワナイ カセット3*：**ツカウ**、ツカワナイ カセット4*：**ツカウ**、ツカワナイ	自動給紙の場合に、どの給紙トレイ／カセットを自動給紙の対象とするのかを設定します。
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ、OHP、フツウシL	通常使用する用紙の種類を設定します。

＜レイアウトグループ＞　→P.3-17

設定項目	設定値	内容
縦補正	-50.0mm ～ **0.0mm** ～ +50.0mm	印字位置を0.5mm単位で縦方向に調整します。
横補正	-50.0mm ～ **0.0mm** ～ +50.0mm	印字位置を0.5mm単位で横方向に調整します。
とじ方向	**ナガテ**、ミジカテ	とじ代の位置を、用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定します。
とじ幅	-30.0mm ～ **0.0mm** ～ +30.0mm	とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。

＜印字調整グループ＞　→P.3-20

設定項目	設定値	内容
スーパースムーズ	**ツカウ**、ツカワナイ	スムージング処理を使うかどうかを設定します。
解像度	**ファイン**、クイック	データの解像度を設定します。
中間調選択	**パターン1**、パターン2	データの中間調の表現方法を設定します。
バンド制御	**スル**、シナイ	バンド制御を行うかどうかを設定します。
画質警告	**ケイゾク**、テイシ	画質の品位低下のメッセージを表示するかどうかを設定します。
フォームキャッシュメモリ	**ツカワナイ**、ツカウ*	フォーム画像を保持するメモリを確保するかどうかを設定します。
印字動作	**ジドウ**、ガシツユウセン、トウロクユウセン	用途に合わせたメモリ（RAM）の配分のしかたを設定します。
階調処理	**ヒョウジュン**、コウカイチョウ	ファインモードでプリントするときの、データの階調処理の方法を設定します。

＜インタフェースグループ＞　→P.3-27

設定項目	設定値	内容
インタフェース選択	**ジドウ**、セントロニクス、USB、ヒョウジュン　ネットワーク、カクチョウ　ネットワーク*	パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。
セントロニクス設定*	**busy-ack：**　**A-B-A**、A-B、B-A	BUSY信号とACKNLG信号の出力順序を変更します。
	セントロ受信速度： **コウソク**、チュウソク、テイソク	セントロニクスのデータの受信速度を設定します。
	セントロ送信速度： **コウソク**、チュウソク、テイソク	セントロニクスのデータの送信速度を設定します。
	インプットプライム： **ドウサモード イゾン**、リセット	パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。
	双方向：　**ECP**、ニブル、ツカワナイ	データの双方向通信を設定します。

3

共通セットアップメニューの設定項目

標準ネットワーク*	**TCP/IP：** **フレームタイプ** **ETHERNET 2、ムコウ** **IP モード** **シュドウ、ジドウ** **プロトコル** **DHCP　オフ、オン** **BOOTP　オフ、オン** **RARP　オフ、オン** **アドレス** **IPアドレス** **192.168.0.215** **サブネットマスク** **0.0.0.0** **ゲートウェイアドレス** **0.0.0.0**	本プリンタに標準のネットワークボードのTCP/IP 設定を行います。
	設定登録：　―	「標準ネットワーク」の「TCP/IP」（前項目）の設定内容を登録します。
	設定初期化：　―	本プリンタに標準のネットワークボードの設定を、工場出荷時の値に戻します。
拡張ネットワーク*	**TCP/IP：** **フレームタイプ** **ETHERNET 2、ムコウ** **IP モード** **シュドウ、ジドウ** **プロトコル** **DHCP　オフ、オン** **BOOTP　オフ、オン** **RARP　オフ、オン** **アドレス** **IPアドレス** **（数値）** **サブネットマスク** **（数値）** **ゲートウェイアドレス** **（数値）**	本プリンタにオプションで搭載された拡張ネットワークボードのTCP/IP設定を行います。 工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。
	設定登録：　―	「拡張ネットワーク」の「TCP/IP」（前項目）の設定内容を登録します。
	設定初期化：　―	オプションで装着された拡張ネットワークボードの設定を、工場出荷時の値に戻します。
コネクション認識*	**スル、シナイ**	標準／拡張ネットワークボードを使用していて、正しいプリント結果が得られない場合に設定します。

拡張機能グループの設定項目

コピー枚数

1 〜 2000

プリントの部数を設定します。

設定値で指定した部数だけプリントされます。

タイムアウト

5 〜 15 〜 300 ビョウ、シナイ

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えてプリントを開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。

プリンタ側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。設定値で指定した時間が経過すると、自動的にジョブを終了します。また、「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要

- 自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。
- オプションのハードディスクを使用している場合は、次のように設定してください。
  - ・本項目を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定しておくことをおすすめします。
  - ・LIPS 専用セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」（→ P.4-13）を「スル」に設定してください。

メモ

- 動作モード自動切り替えは、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ設定できます。（→動作モードメニューの設定項目：P.5-4 ）
- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

スリープモード

15フン、30プン、60プン、

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。オンラインからスリープモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからスリープモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

メモ
- セキュアプリントデータを受信した場合、スリープモードであっても、ジョブランプが点灯します。
- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。
- 本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。
  ・サービスコール（「nn-nn　××」{nnは2桁の英数字}）が表示されている
  ・ハードディスクのシャットダウン中または初期化中
  ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのかを設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ
- エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ
- 本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。

トナー節約

ツカワナイ、ツカウ

トナーを節約してプリントするモードを使うかどうかを設定します。

メモ
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、トナーは節約できますが、プリント結果が薄くなり、不鮮明になることがあります。また、ごく淡いグレーの階調部分などは逆に濃くなることがあります。
- 印字調整グループの「階調処理」が「コウカイチョウ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

トナー濃度

1 〜 4 〜 8

プリントするときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

警告処理

ケイゾク、テイシ

トナーが残り少なくなった場合に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、トナーが少なくなっても「16　トナー　チェック」を表示しながらプリントを続けます。

「テイシ」に設定すると、トナーが少なくなった場合は、「16　トナー　コウカン」を表示し、プリントを中断します。

メモ
- 「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換したあと、再度プリントを行ってください。

自動エラースキップ

ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「ツカワナイ」を設定した場合、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「ツカウ」を設定した場合、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ
- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、「メッセージが表示されたときは」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、すべてのエラーに対して自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ
- ENGLISH表示の場合のメニュールートマップはありません。

自動切り替え

LIPS.............. ツカウ、ツカワナイ
オプション..... ツカウ、ツカワナイ

* オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。

「ツカウ」を設定した場合、そのモードを自動切り替えの対象とします。「ツカワナイ」を設定した場合、そのモードを自動切り替えの対象としません。

メモ
- 動作モード自動切り替えは、動作モードメニューで設定します。（→動作モードメニューの設定項目：P.5-4 ）
- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、優先エミュレーションメニューで設定されたモードで動作します。（→優先エミュレーションメニューの設定項目：P.5-7 ）
- 「オプション」を「ツカワナイ」に設定すると装着されているオプションのエミュレーションすべてが自動切り替えの対象から外れます。

ハードディスク*

ツカワナイ、ツカウ

* オプションのハードディスクが装着されていて、16MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に特有の機能を使うかどうかを設定します。特有の機能とは、

・印刷データの割り込み

・印刷データの順番の変更

・印刷データの属性（印刷部数）の変更

・印刷データの処理の一時停止／再開

・印刷データをハードディスクに保管する（再プリントが可能）

・セキュアプリント（→P.5-11 ）

・rip once（リップワンス）（→ P.3-12 ）

などです。

通常は「ツカウ」に設定しておいてください。ハードディスクを使った機能で不具合がある場合に、「ツカワナイ」に設定してください。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

割り込み印刷許可*

スル、シナイ

* オプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、印刷データの割り込みの機能を使うかどうかを設定します。

メモ
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、割り込み印刷はできません。

セキュアプリント消去*

1ジカン、2ジカン、3ジカン、6ジカン、12ジカン、24ジカン

* オプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

あらかじめパソコン側でドキュメント名、ユーザ名、パスワードを設定した「セキュアプリント」のデータを消去する時間を設定します。

セキュアプリントデータはハードディスクに保存されていて、通常はプリントしないと消去されませんが、データの処理が終了してから本項目で設定した時間が経過すると、プリントしていなくても自動的に消去されます。

メモ

- セキュアプリントデータのプリントは、ユーティリティメニューの「セキュアプリント」（→P.5-11）で行います。
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、セキュアプリント消去はできません。
- 本項目で設定した時間が経過していない場合でも、プリンタの電源を切るかハードリセットやソフトリセット操作を行うと、セキュアプリントデータは消去されます。
- ドキュメント名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。

rip once*（リップワンス）

ツカウ、ツカワナイ

* オプションのハードディスクが装着されていて、16MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、「rip once（リップワンス）」の機能を使うかどうかを設定します。rip once（リップワンス）とは、複数部数をプリントするときのために、1部目のデータをハードディスクに保存しておいて2部目以降のプリントを高速に行う機能です。

大量の部数をプリントする場合や、複雑なデータ（多数の図形や画像が含まれるデータなど）を複数部数プリントする場合に効果があります。

重要

- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

- 本項目を「ツカウ」に設定するには、32MB以上の拡張メモリ（RAM）を増設する必要があります。メモリが不足している場合は、「ツカワナイ」にしか設定できません。
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は自動的に「ツカワナイ」になり、rip once（リップワンス）の機能は使えません。
- 文字だけのデータなどのように比較的単純なデータや、部数の少ないデータでは、あまり効果がでないことがあります。

給紙グループの設定項目

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的には検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形４号に、「フウトウ　Y2」は洋形2号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10mm内側までとなります。詳しくは、「用紙について」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
- 給紙選択メニューでも同様の設定ができます。（→トレイ用紙サイズ：P.5-14 ）

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、B6、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できないときのための論理上の用紙サイズを設定します。

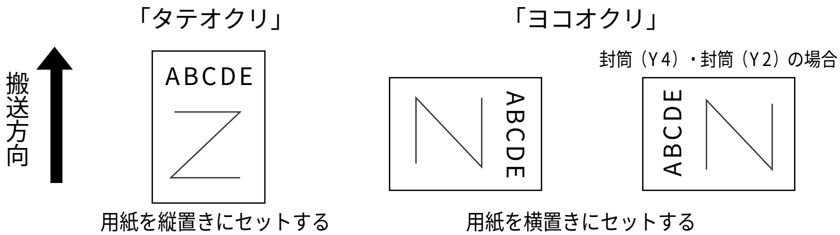
用紙の向き

ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。

給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定してください。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。

なお、本項目は置きかたを設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。



メモ

- LIPSモードの場合、印字の向きは、LIPS専用セットアップメニューの「ページの向き」（→P.4-7）で設定できます。
- LIPS以外のモードの場合、「ジドウ」に設定すると、自動的に「ヨコオクリ」として処理されます。
- 給紙カセットから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、LD、LG
  - ・横置きのみ：A5、B5、LT、EX
  - ・縦置き・横置き：A4
- 給紙トレイから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、B6、ハガキ、往復ハガキ、LD、LG、ユーザペーパー
  - ・横置きのみ：封筒（Y4）、封筒（Y2）
  - ・縦置き・横置き：A4、A5、B5、LT、EX

トレイ優先

シナイ、スル

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンタが給紙トレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、次の順序で行われます。

カセット 1 → カセット 2* →カセット 3*→カセット 4*→ 給紙トレイ

「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、給紙トレイから次の順序で行われます。

給紙トレイ →カセット 1→カセット 2*→カセット 3*→カセット 4*

*：オプションの250 枚ペーパーフィーダ PF-65装着時のみ

メモ

- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.5-13）で設定します。
- 本項目は、給紙選択メニューの「給紙モード」が「ジドウ」に設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、給紙トレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。
- カセット 2、カセット 3、カセット 4 はオプションです。

自動選択

トレイ .... ツカウ、ツカワナイ
カセット 1 ...... ツカウ、ツカワナイ
カセット 2*..... ツカウ、ツカワナイ
カセット 3*..... ツカウ、ツカワナイ
カセット 4*..... ツカウ、ツカワナイ

*「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションの250 枚ペーパーフィーダ PF-65が装着されている場合にのみ表示されます。

「給紙モード」（→ P.5-13）が「ジドウ」に設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。給紙トレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、OHP、フツウシL

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

・「フツウシ」　普通紙・再生紙・ラベル用紙

・「アツガミ」　厚紙（91～157g/m^2）

・「OHP」　OHPフィルム

・「フツウシL」　普通紙・再生紙

メモ

- 通常、Windows パソコンやMacintosh パソコンなどで用紙タイプを設定する場合は、プリンタドライバで設定してください。ただし、MS-DOSやUNIXなどをOSとするパソコンでプリントする場合は、本項目で設定してください。
- 「フツウシ」に設定してプリントした結果、用紙のカールが目立つときは、「フツウシ L」に設定してください。ただし、「フツウシ L」に設定すると、トナーが用紙に定着しにくくなります。
- 「アツガミ」、「OHP」に設定した場合、プリント速度が遅くなる場合があります。
- ハガキ、往復ハガキおよび封筒をプリントする場合は、「トレイ用紙サイズ」（→P.3-13）を設定すると自動的に各用紙タイプの印字モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。

レイアウトグループの設定項目

縦補正 / 横補正

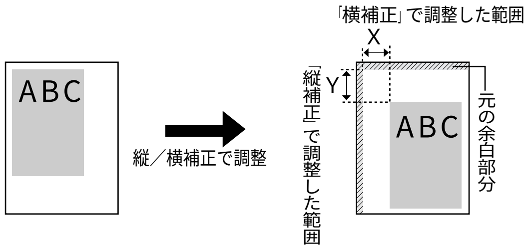
-50.0mm ～ 0.0mm ～ +50.0mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦補正 ：設定値が増えると用紙の Y方向の余白が広くなります。
　　　　　設定値が減ると用紙の Y方向の余白が狭くなります。

横補正 ：設定値が増えると用紙の X方向の余白が広くなります。
　　　　　設定値が減ると用紙の X方向の余白が狭くなります。



重要 • 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされますのでご注意ください。

メモ • ［>］を押すたびに設定値が 0.5mmずつ増え、［<］を押すたびに設定値が 0.5mmずつ減ります。また、［>］あるいは［<］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

とじ方向

ナガテ、ミジカテ

とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。

とじ代用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじ幅」(→次項目）で設定します。

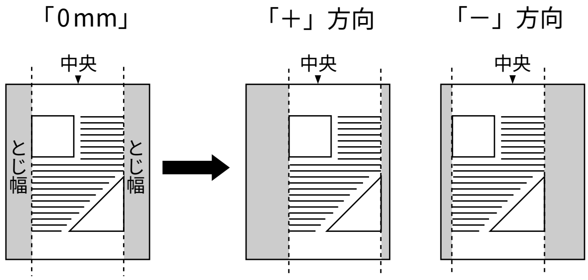
メモ • 本項目だけを設定しても、とじ代をあけることはできません。「とじ幅」と組み合わせて設定することによってとじ代をあけることができます。

とじ幅

-30.0mm ～ 0.0mm ～ +30.0mm

とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。

設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で－方向にずらします。



用紙の長短どちらの辺にとじ代をあけるのかは「とじ方向」（→前項目）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじ代をあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

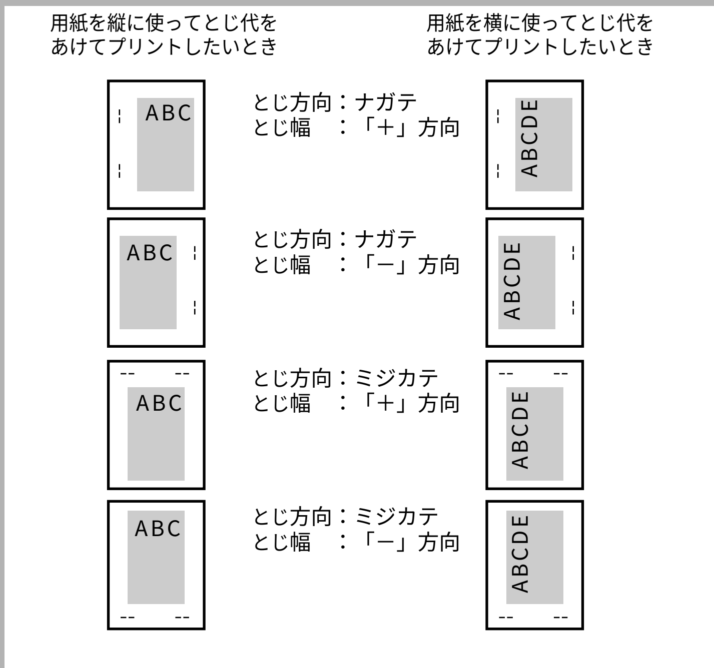
重要
- とじ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされますのでご注意ください。

メモ

- ［>］を押すたびに設定値が0.5mmずつ増え、［<］を押すたびに設定値が0.5mmずつ減ります。また、［>］あるいは［<］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦補正」「横補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦補正」「横補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

●とじ方向ととじ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじ幅を設定してください。



用紙を縦に使ってプリントするか、横に使ってプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

印字調整グループの設定項目

スーパースムーズ

ツカウ、ツカワナイ

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかにプリントするスムージング処理を使うかどうかを設定します。

「ツカウ」を設定した場合スムージング処理を使ってプリントします。

「ツカワナイ」を設定した場合スムージング処理を使わずにプリントします。

メモ
- スーパースムージングの効果は、文字やグラフィックのパターンによって異なります。
- 「階調処理」（→P.3-26）が「コウカイチョウ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

解像度

ファイン、クイック

プリントするときの解像度を設定します。

解像度は1インチあたりのドット数を示すdpi（dot per inch）という単位で表され、数値が大きいほど高い精度でプリントできます。

「ファイン」を設定した場合、解像度600dpiのファインモードでプリントします。クイックモードよりも若干、印刷時間がかかることがありますが、高解像度でプリントできます。

「クイック」を設定した場合、解像度300dpiでプリントします。印字の精度がそれほど必要とされない場合にこのモードをお使いください。ファインモードよりも高速でプリントできます。

重要 • データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモードでプリントされない場合があります。そのような場合は、印字動作を「ガシツ　ユウセン」にしてください。

●ファインモードに必要なメモリについて

ファインモードでプリントする際には、クイックモードでプリントする場合よりも、処理に多くのメモリを必要とします。そのため、データの量や種類によっては、ファインモードでのプリントに必要なメモリが不足することもあります。このような場合は、クイックモードに設定しなおしてプリントすることをおすすめします。また、初めからクイックモードに設定しておくと高速でプリントできます。

どうしてもファインモードでプリントする必要があるときは、必要に応じてオプションの拡張RAMを増設してください。

*ファインモードでプリントするメモリが不足して300dpiでプリントされるときに、メッセージを表示するかどうかを設定することができます。（→画質警告：P.3-22 ）

中間調選択

パターン1、パターン2

データの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。

「パターン1」を使うと、文字の輪郭をシャープに、イメージやグラフィックをきめこまかな階調でプリントします。文字やイメージ・グラフィックの混在する文書をよりシャープな画質でプリントしたいときに向いています。

「パターン2」は、文字や細い線または元解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。

メモ
- 「中間調選択」は、解像度が「ファイン」に設定されている場合のみ有効です。
- 「パターン 2」の場合、当社の LBP-470/740/740e/750/840/850/870/880/930/930EX/950/2040/2260/2200の「パターン1」と同じディザパターンで印字します。

バンド制御

スル、シナイ

本プリンタでは、最小限のメモリで高画質のプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行っています。

通常は「スル」に設定しておいてください。ファインモードからクイックモードに切り替えても「21 プリント　オーバーラン」というメッセージが表示される場合に、必要に応じて「シナイ」に設定してください。

> **●バンド制御とは**
>
> バンド制御は、パソコンから受信したデータを、逐次ビットマップ展開して、展開した分のデータからすぐに出力するので、メモリも少なくてすみ、高速に処理できます。
>
> しかし、バンド制御では、データが複雑だとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「21　プリント　オーバーラン」というエラーメッセージが表示されます。
>
> このエラーが起きる場合は、解像度をクイックモード（300dpi）にして再度プリントしてください。それでも同じエラーが起きる場合は、バンド制御を使わない設定にしてください。

画質警告

ケイゾク、テイシ

「解像度」が「ファイン」に設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、高品位のプリントを通常の品位に落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」を設定した場合は、メッセージを表示せずに、自動的に品位を落としてプリントします。「テイシ」を設定した場合は、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、［オンライン］を押すと、品位を落としてプリントを再開します。

メモ

- 本項目を「テイシ」に設定したとき、エラーが発生すると「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが表示されます。この場合、［オンライン］を押してエラーを解除することもできますが、処理スピードや印字品位が低下することがあります。
- 本項目を「テイシ」に設定して、「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。
  1. 「印字動作」の項目を「ガシツ　ユウセン」に設定する
  2. 1の対処を行ってもメッセージが表示される場合で、「階調処理」の項目が「コウカイチョウ」に設定されている場合は、「ヒョウジュン」に設定する
     ※ただし、この場合、階調を落としてプリントします。
  3. 2の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張メモリ（RAM）を増設する

- 本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、[オンライン] を押すとエラーを解除してプリントを続けることができます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

フォームキャッシュメモリ

ツカワナイ、ツカウ*

*「ツカウ」は、16MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

オーバレイプリントに使用するフォーム画像を保持するメモリの容量を設定します。

フォームキャッシュ機能は、登録されたフォームデータをあらかじめ画像として展開した状態でメモリ上に保持し、必要に応じて再利用します。より高速のオーバレイプリントが可能になります。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ
- 搭載されているメモリ（RAM）容量や、ハードディスクやrip once（リップワンス）機能のために配分されているメモリの容量によっては、フォーム画像のためのメモリ領域が保持できない場合があります。
- 本項目は、別売のアプリケーション「FormCraft Pro.」によるオーバレイ出力時に利用します。LIPS 専用セットアップメニューの「オーバレイ1」「オーバレイ2」では利用できません。

印字動作

ジドウ、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。

本プリンタに搭載されているRAM（標準で8MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。

ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合や、ハードディスクを搭載して多彩な機能を使う場合などは、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけではなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。

「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。

「ガシツ　ユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリ

ントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。

「トウロク　ユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツ　ユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ
- 登録用の領域として使用できるメモリ容量は、ステータスプリントの「空きメモリ量」を目安にしてください。ただし、ステータスプリントの「空きメモリ量」にプリントされる値はプリンタ待機時の値です。プリンタの状態、ご使用のOSやソフトウェアなどの条件によっては、実際の空きメモリ量がプリントされている値より小さいことがあります。
- 「ガシツ　ユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

●「ガシツ　ユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリや、フォームキャッシュメモリ、ハードディスク、rip once（リップワンス）の設定内容によって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

－：設定不可　○：「使う」　×：「使わない」

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ	フォームキャッシュメモリ	ハードディスク	rip once（リップワンス）
8（標準）	A4	×	－	－
24（+16MB）＊	A3×2	×	×	－
	A3	×	○	－
	A3	○	×	－
	A4	○	○	－
40（+32MB）＊	A3×4	×	×	×
	B4×4	×	○	×
	A4	×	○	○
	B4×4	○	×	×
	A3×2	○	○	×
72（+64MB）＊	B4×8	×	×	×
	B4×8	×	○	×
	A3×4	×	○	○
	B4×8	○	×	×
	B4×8	○	○	×
	B4×4	○	○	○
136（+128MB）＊	A3×8	×	×	×
	A3×8	×	○	×
	A3×8	×	○	○
	A3×8	○	×	×
	A3×8	○	○	×
	B4×8	○	○	○

＊ 表中に（+●●MB）とあるのは、標準のRAM（8MB）に加えて必要な拡張RAM（オプション）の容量を示します。

上記の印字保証サイズは、「解像度」の設定が「ファイン」、「階調処理」の設定が「ヒョウジュン」の場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

- 解像度　クイック　4倍
  　ファイン　等倍
- 階調　標準　等倍
  　高階調　1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、オプションのコントロールROMを装着したり、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツ　ユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

階調処理

ヒョウジュン、コウカイチョウ

ファインモードでプリントするときの、データの階調処理の方法を設定します。

「ヒョウジュン」は、細い線、または解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。

「コウカイチョウ」は、写真やグラデーションなど、複雑な階調を持つ、解像度の高いデータをプリントするのに向いています。「ヒョウジュン」に設定した場合よりもきめ細かな表現が可能です。

メモ
- 本項目は、ファインモードでのみ有効です。クイックモードでは無視されます。
- 本項目を「コウカイチョウ」に設定すると、「スーパースムーズ」、「トナー節約」の設定が「ツカウ」に設定されていても無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

インタフェースグループの設定項目

インタフェース選択

ジドウ、セントロニクス、USB、ヒョウジュン　ネットワーク、カクチョウ　ネットワーク*

*「カクチョウ　ネットワーク」は、オプションの拡張ネットワークボードが装着されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

「ジドウ」に設定した場合は、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。

先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。

「セントロニクス」「USB」「ヒョウジュン　ネットワーク」「カクチョウ　ネットワーク」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ
- 拡張メモリ（RAM）を増設していない状態で、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してプリントする場合、本項目を「ジドウ」ではなく「セントロニクス」、「USB」など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

セントロニクス設定／busy-ack*

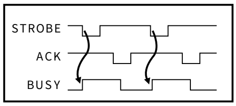
A-B-A、A-B、B-A

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

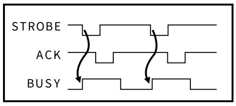
BUSY信号とACKNLG信号の出力順位を変更することができます。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

メモ
- 各設定値ごとのBUSY信号とACKNLG信号の出力順位は次のとおりです。

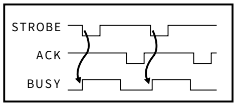
「A-B-A」



「A-B」：



「B-A」：



セントロニクス設定／セントロ受信速度*

コウソク、チュウソク、テイソク

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ
- 「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

セントロニクス設定／セントロ送信速度*

コウソク、チュウソク、テイソク

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

セントロニクス設定／インプットプライム*

ドウサモード イゾン、リセット

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。

「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信すると、動作中のモード（LIPS、オプションのエミュレーションのいずれか）の処理に依存します。

「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

拡張インタフェースを使用している場合は、インプットプライムは無視されます。

メモ
- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
- インプットプライムを受信したときは、「03　インプット　プライム」と表示されます。
- 本項目を「ドウサモード　イゾン」に設定した場合、LIPS モードではジョブを終了します。オプションのエミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタと同じ処理を行います。

セントロニクス設定／双方向*

ECP、ニブル、ツカワナイ

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。通常は「ECP」に設定しておいてください。

「ECP」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECP モード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ニブル」を設定した場合は、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ツカワナイ」を設定した場合は、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- 本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタはIEEE 1284規格の中のECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンのマニュアルをご覧ください。
- パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windowsを使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。
- Windowsを使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。
- 本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、Windowsのプリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。設定については「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

標準ネットワーク／TCP/IP*

フレームタイプ	**ETHERNET 2、ムコウ**
IPモード*	**シュドウ、ジドウ**
プロトコル*	
DHCP	**オフ、オン**
BOOTP	**オフ、オン**
RARP	**オフ、オン**
アドレス*	
IPアドレス	**192.168.0.215**
サブネットマスク	**0.0.0.0**
ゲートウェイアドレス	**0.0.0.0**

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

*「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET 2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

本プリンタに標準で搭載されているネットワークボードのTCP/IP設定を行います。本項目では、TCP/IP のフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要
- 本項目で設定値を設定したあと、必ず「標準ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、ご注意ください。

メモ
- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、[<] または [>] を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた3桁分の領域）にカーソルを移動し、[∨] を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。[>] を押すと数値が増え、[<] を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、[∨] を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、「TCP/IP ネットワークで使用するには」（→ネットワークガイド）をご覧ください。

標準ネットワーク／設定登録*

ー

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「ヒョウジュン　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで [∨] を押すと登録が行われます。[∨] を押さずに [オンライン] を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

標準ネットワーク／設定初期化 *

—

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、標準ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

「ヒョウジュン　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　ショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで ［∨］を押すと初期化が行われます。［∨］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

拡張ネットワーク／TCP/IP*

フレームタイプ	**ETHERNET 2、ムコウ**
IPモード*	**シュドウ、ジドウ**
プロトコル*	
DHCP	**オフ、オン**
BOOTP	**オフ、オン**
RARP	**オフ、オン**
アドレス*	
IPアドレス	**数値**
サブネットマスク	**数値**
ゲートウェイアドレス	**数値**

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

*「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET 2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。

本プリンタにオプションで装着された拡張ネットワークボードのTCP/IP設定を行います。本項目では、TCP/IPのフレームタイプ、IPアドレスの取得方法、IPアドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要

- 本項目で設定値を設定したあと、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、ご注意ください。

メモ

- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［<］または［>］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた3桁分の領域）にカーソルを移動し、［∨］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［>］を押すと数値が増え、［<］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［∨］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。

- 設定内容については、オプションの拡張ネットワークボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

拡張ネットワーク／設定登録*

ー

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［V］を押すと登録が行われます。［V］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

拡張ネットワーク／設定初期化*

ー

* 操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　ショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで ［V］を押すと初期化が行われます。［V］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

コネクション認識*

スル、シナイ

*「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」、「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

標準／拡張ネットワークを使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

重要
- 本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

LIPS専用セットアップメニューの設定項目

4
CHAPTER

LIPSモードに固有のLIPS専用セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明します。

LIPS 専用セットアップメニュー 設定項目一覧

■ 表の見かた

- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

設定項目	設定値	内容
拡大／縮小	**シナイ**、→A3、→B4、→A4、→B5、→A5、→B6、→ハガキ、→オウフクハガキ、→リーガル、→レター	拡大または縮小プリントの設定をします。
複数ページ印刷	**シナイ**、2ページ(ヒダリ)、2ページ(ミギ)、4ページ(ヨコ-ヒダリ)、4ページ(ヨコ-ミギ)、4ページ(タテ-ヒダリ)、4ページ(タテ-ミギ)	複数のページを縮小して並べ、1ページにプリントします。
複数ページ余白	**パターン1**、パターン2	「複数ページ印刷」時の、余白のとりかたを設定します。
ページの向き	**タテ**、ヨコ	用紙を縦に使うか横に使うかを設定します。
オーバレイ1/2	**シナイ**、0 ～ 32767	オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。
スタートアップマクロ	0～ **30** ～32767	スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。
漢字コード	**JIS** 、シフトJIS、EUC、DEC	コンピュータの種類に応じて、漢字コードを設定します。
文字サイズ	**10ポイント**、12ポイント、8ポイント	印字する文字の大きさ（文字の高さ）を設定します。
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック	漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。
ANK書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ラインプリンタ	半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。
漢字グラフィックセット	**JIS90**、JIS78	JIS 漢字コードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。
行数	**6LPI**、8LPI、10 ～ 99	1インチまたは1ページにプリントする行数を設定します。
桁数	**ジドウ**、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200	1インチまたは1行にプリントする文字数を設定します。
自動改ページ	**スル**、シナイ	改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。
自動改行	**スル**、シナイ	復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。
CR機能	**CRノミ**、CR+LF	復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。
LF機能	**LFノミ**、LF+CR	改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

網かけ解像度	**クイック、ファイン**	ファインモード時の網かけデータの解像度を設定します。
ジョブタイムアウト	**シナイ、スル**	共通セットアップメニューで設定した「タイムアウト」を有効にするかどうかを設定します。
白紙節約	**ツカウ、ツカワナイ**	白紙ページを排出するかどうかを設定します。

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

拡大／縮小

シナイ、→A3、→B4、→A4、→B5、→A5、→B6、→ハガキ、→オウフク　ハガキ、→リーガル、→レター

拡大または縮小プリントの設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算して、拡大／縮小してプリントします。

メモ
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- 拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされないことがあります。
- 拡大／縮小率が25～200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。

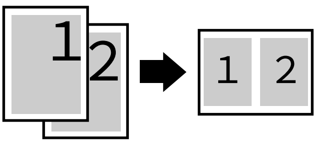
複数ページ印刷

シナイ、2ページ(ヒダリ)、2ページ(ミギ)、4ページ(ヨコ-ヒダリ)、4ページ(ヨコ-ミギ)、4ページ(タテ-ヒダリ)、4ページ(タテ-ミギ)

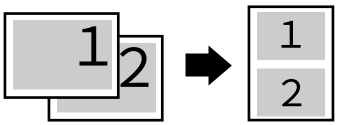
アプリケーションソフト側で作成したデータを、2ページ分または4ページ分を並べて1ページにプリントできます。

「2ページ（ヒダリ）」を設定した場合は、2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

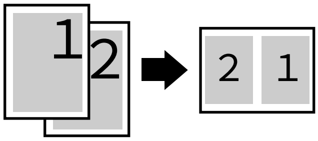


用紙を横に使ってプリントする場合

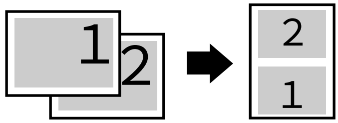


「2 ページ（ミギ）」を設定した場合は、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

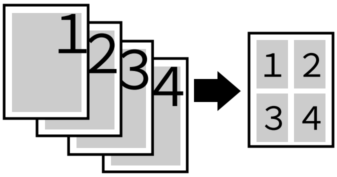


用紙を横に使ってプリントする場合

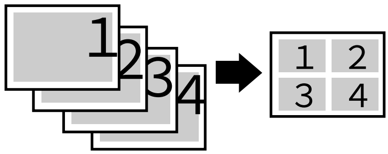


「4 ページ（ヨコーヒダリ）」を設定した場合は、4 ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

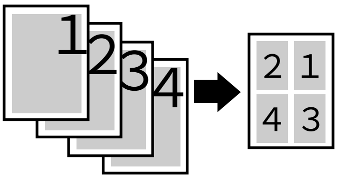


用紙を横に使ってプリントする場合

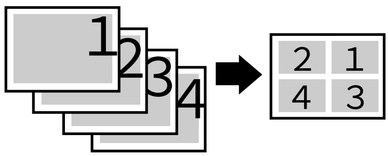


「4 ページ（ヨコーミギ）」を設定した場合は、4 ページ分のデータを、右上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

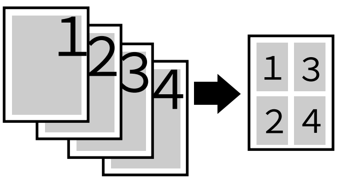


用紙を横に使ってプリントする場合

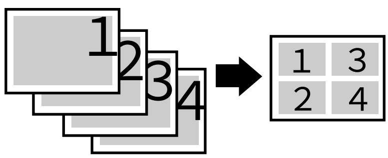


「4 ページ（タテーヒダリ）」を設定した場合は、4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

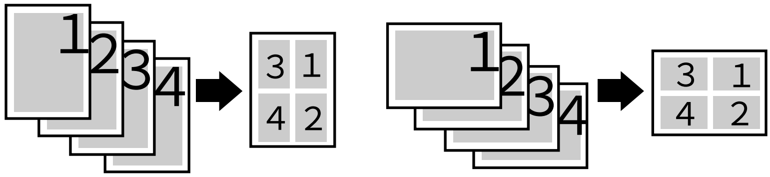


用紙を横に使ってプリントする場合



「4 ページ（タテーミギ）」を設定した場合は、4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合



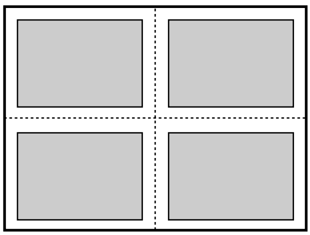
メモ
- 異なるサイズのページデータを並べて 1ページにプリントすることはできません。
- 拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。

複数ページ余白

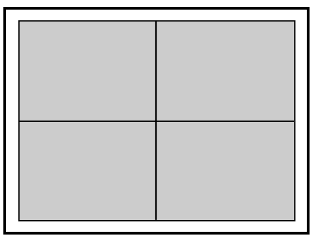
パターン1、パターン2

「複数ページ印刷」の機能を使って２ページ分または４ページ分を並べてプリントする場合の、余白のとりかたを設定します。

「パターン 1」を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。



「パターン 2」を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。



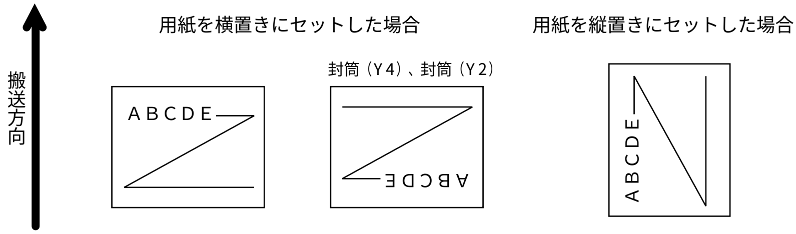
メモ
- 「パターン1」と「パターン 2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン1」よりも「パターン2」のほうが若干画像が大きくなります。
- 「パターン 2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。

ページの向き

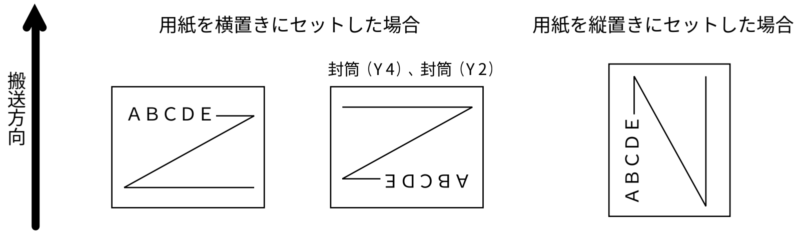
タテ、ヨコ

用紙を縦に使ってプリントするのか、横に使ってプリントするのかを設定します。

「タテ」を設定した場合は、用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を縦に使ってプリントします。



「ヨコ」を設定した場合は、用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を横に使ってプリントします。



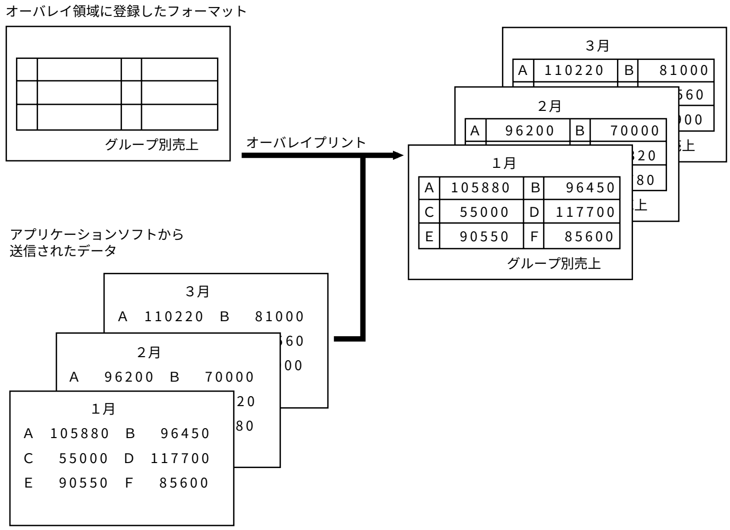
オーバレイ1/オーバレイ2

シナイ、0 〜 32767

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使うフォーマットデータの番号を指定します。

オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。

オーバレイ領域には、1ページ分のフォーマットを最大で32,768種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに0〜32767の番号をつけて登録します。本項目では、オーバレイ1あるいはオーバレイ2として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。



メモ

- オーバレイの内容は、電源を切るかハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、「LIPSユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）」（→ P.5-9）の「オーバレイプリント」、「オーバレイリスト」で確認することができます。
- 登録するフォーマットをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。

スタートアップマクロ

0 ～ 30 ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。

スタートアップマクロ機能は、あらかじめパソコン側で作成したLIPSのコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で1～32767番までの32,767種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

メモ

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS 専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます。「LIPSユーティリティ（LIPS専用ユーティリティ）」（→P.5-9）
- 登録するプログラムをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。

漢字コード

JIS、シフト JIS、EUC、DEC

コンピュータで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外の設定値を設定します。

・アプリケーションソフトを使わず、MS-DOS のテキストデータをそのままプリントするときには「シフト JIS」を設定します。

・UNIX を OS とするワークステーションやパソコンを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX 拡張コード）を設定します。

・DEC 漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DEC コード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のように G0 ～G3 の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフト JIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0 ～G1	G0～G1	解除	解除

重要

●「シフト JIS」を設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します

メモ

●指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントします。

●本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JIS で規定されていない拡張文字などはプリントされません。
上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。

●JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、「漢字グラフィックセット」（→P.4-11）で設定します。

●UNIX では EUC を採用していますが、中には OS のデバイスドライバが JIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピュータの操作説明書をご覧ください。

4

LIPS専用セットアップメニューの設定項目

文字サイズ

10ポイント、12ポイント、8ポイント

印字する文字の大きさ（文字の高さ）をポイント数で設定します。

1 ポイントは約0.35mm（1/72"）です。

コントロールコマンドでLIPS IIIまたはLIPS IVを使用しているときと、LIPS II$^+$を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが次のように異なります。

「10ポイント」：

LIPS III／IV＝10ポイント　LIPS II$^+$＝9.6ポイント

「12ポイント」：

LIPS III／IV＝12ポイント　LIPS II$^+$＝12ポイント

「8ポイント」：

LIPS III／IV＝8ポイント　LIPS II$^+$＝7.2ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II$^+$
8ポイント	8　文字のサイズ	7.2　文字のサイズ
10ポイント	10　文字のサイズ	9.6　文字のサイズ
12ポイント	12　文字のサイズ	12　文字のサイズ

メモ
- LIPS II$^+$のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「ミンチョウ」	「ゴシック」
明朝体	**ゴシック体**

ANK書体

ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ

半角英数字や半角カナなどのANK文字の書体を設定します。

ANKとは、Alphabet、Numeric、Kanaの略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

漢字グラフィックセット

JIS90、JIS78

「漢字コード」の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS漢字コードには「新JIS（JIS90)」と「旧JIS （JIS78)」があります。新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ
- グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。 それを示したものがコード表です。
- 新JISと旧JISの漢字コード表は付属のCD-ROMに収められています。CD-ROMをご覧ください。

行数

6LPI、8LPI、10 ～ 99

1インチまたは1ページにプリントする行数を設定します。

LPIはLine Per Inchの略で、1インチあたりの行数の単位を表します。

「6LPI」を設定した場合は、1インチに6行プリントします。

「8LPI」を設定した場合は、1インチに8行プリントします。

「10～99」を設定した場合は、1ページにプリントする行数を10～99行の範囲で設定します。「10」を選択してから［>］を押すと行数が増え、［<］を押すと行数が減ります。

桁数

ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200

1インチまたは1行にプリントする文字数を設定します。

CPIは、Characters Per Inchの略で、1インチあたりの文字数の単位を表します。

「ジドウ」を設定した場合は、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。

「10CPI」を設定した場合は、1インチに10桁プリントします。

「12CPI」を設定した場合は、1インチに12桁プリントします。

「15CPI」を設定した場合は、1インチに15桁プリントします。

「10～200」を設定した場合は、1行にプリントする文字数を10～200の範囲で設定します。「10」を選択してから［>］を押すと桁数が増え、［<］を押すと桁数が減ります。

自動改ページ

スル、シナイ

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

メモ
- 「シナイ」に設定した場合は、パソコンから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行

スル、シナイ

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

メモ
- 「シナイ」に設定した場合は、パソコンから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

CR機能

CRノミ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「CR ノミ」を設定した場合は、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「CR＋LF」を設定した場合は、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF機能

LFノミ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF ノミ」を設定した場合は、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

「LF ＋CR」を設定した場合は、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度

クイック、ファイン

ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

「クイック」を設定した場合は、300dpi用にデザインされたパターンを2倍に拡大して使用します。

「ファイン」を設定した場合は、600dpi用にデザインされたパターンを使用します。「クイック」よりも高精度でプリントできます。

メモ
- 本項目は、「解像度」(→P.3-20) がファインモードの場合にのみ有効です。
- データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目を「クイック」に設定していた場合よりも、「ファイン」に設定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。

ジョブタイムアウト

シナイ、スル

共通セットアップメニューの「タイムアウト」(→P.3-7) の設定を有効にするかどうかを設定します。

重要
- オプションのハードディスクを使用している場合は、次のように設定してください。
  - ・本項目を「スル」に設定してください。
  - ・共通セットアップメニューの「タイムアウト」(→P.3-7) を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定しておくことをおすすめします。

メモ
- LIPS 対応のアプリケーションソフトからオプションのエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「スル」に設定すると、タイムアウトでLIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙節約

ツカウ、ツカワナイ

アプリケーションソフトから送られた改ページコード (FF) と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「ツカウ」を設定すると白紙を排出しません。「ツカワナイ」を設定すると白紙を排出します。

この機能を使うと、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

セットアップ以外のメニューの設定項目

5
CHAPTER

セットアップ以外のメニューで設定できる項目の内容について説明します。

セットアップ以外のメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」が付いている項目や設定値は、オプションの有無で表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

＜動作モードメニュー＞　→P.5-4

設定項目	設定値	内容
動作モード	**ジドウ　センタク***、**エミュレーション***、**LIPS**、**HEX-DUNP**、**LIPS-DUMP**、**シャットダウン***	選択したプリンタ名やデータの種類に合わせて動作モードを自動的に切り替えることができます。

＜優先エミュレーションメニュー＞　→P.5-7

設定項目	設定値	内容
優先エミュレーション*	**LIPS**、**ナシ**、**エミュレーション**	動作モード自動選択で、プリンタがコントロールコマンドを認識できなかったときの優先エミュレーションを設定します。

＜ユーティリティメニュー＞　→P.5-8

共通ユーティリティ	専用ユーティリティ	内容
ステータスプリント	−	搭載しているメモリ（RAM）の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。
フラッシュメモリ*	−	オプションのフラッシュメモリの内容消去を行います。
エミュレーションのユーティリティ*	−	オプションのコントロールROMを装着している場合に、そのエミュレーションのユーティリティを実行できます。
LIPSユーティリティ*	**ステータスプリント**、**フォントリスト**、**オーバレイリスト**、**マクロリスト**、**フォームリスト**、**オーバレイプリント**	LIPSモードでのプリンタの内部情報をプリントします。
フォントリスト	−	本プリンタに搭載されているフォントのID番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。
クリーニング用紙	−	プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。

クリーニング実行	―	プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。
MPローラクリーニング	―	給紙トレイの給紙ローラのクリーニングを行います。
標準N/Wプリント	―	標準で搭載されているネットワークボードの情報をプリントします。
拡張I/Fプリント*	―	オプションの拡張ネットワークボードの情報をプリントします。
HDユーティリティ *	**フォーマット1、フォーマット2**	オプションのハードディスクの内容消去を行います。
セキュアプリント*	―	セキュアプリントのデータをプリントします。

＜給紙選択メニュー＞　→P.5-13

設定項目	設定値	内容
給紙モード	**ジドウ、カセット1、カセット2*、カセット3*、カセット4*、トレイ**	給紙するカセットやトレイなどを選択します。
トレイ用紙サイズ	**A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフクハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R**	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。

動作モードメニューの設定項目

動作モード

ジドウ　センタク*、エミュレーション*、LIPS、HEX-DUMP、LIPS-DUMP、シャットダウン*

*「ジドウ　センタク」、「エミュレーション」はオプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

*「シャットダウン」はオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

動作モードメニューでは、プリンタが動作するモードを設定することができます。

オプションのコントロールROMを装着しているときは、パソコンから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか､LIPSモードやエミュレーションモードに動作モードを固定してプリンタを使用するかを設定できます。

オプションのコントロールROMを装着していないときは、動作モードはLIPSモードのみなので、ここで設定する必要はありません。

また、データを文字や図形に変換せずに、16進コードでプリントする「ヘキサダンプ」や、LIPSのコントロールコマンドの状態でプリントする「LIPSダンプ」でプリントすることもできます。ハードディスクの機能を停止させて安全に電源が切れるようにする「シャットダウン」機能もあります。

メモ
- 工場出荷時の設定は、オプションのコントロールROMを装着している場合と、装着していない場合で異なります。オプションのコントロールROMを装着している場合は、「自動選択」に設定されていて、装着していない場合は、「LIPS」に設定されています。

ジドウ　センタク（自動モード）*

パソコンから送信されたデータが、LIPSコマンドまたはエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。

重要
- オプションのコントロールROMを装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。ただし、本プリンタをN201、ESC/P、IBM5577、FMPR359、N5273、HP-GLなどのプリンタのエミュレーションとしてお使いの場合で、パソコン側で専用のハンドシェークが必要な場合は、オプションのエミュレーションモードに固定してお使いください。

メモ
- 「ジドウ　センタク」に設定すると、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行いますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。（→自動切り替え：P.3-10）

エミュレーション*

動作モードをオプションのエミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

LIPS（LIPSモード）

動作モードを LIPSモードに固定します。

メモ
- オプションのコントロールROMが装着されている場合は､以下のようなときに､このモードに切り替えます。
  - ・アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがLIPSに限られるとき
  - ・自動切り替えでうまくLIPSモードに切り替わらないとき

HEX-DUMP（ヘキサダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」（→ P.6-7）をご覧ください。

LIPS-DUMP（LIPSダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（→ P.6-8）をご覧ください。

シャットダウン*

オプションのハードディスクの機能を終了させます。

ハードディスクを装着している場合、いきなりプリンタの電源を切ると、ハードディスクのアクセス中に電源が切れてしまうおそれがあります。これを避けるため、本項目でハードディスクの機能を終了させてから電源を切るようにします。

動作モードメニューで「シャットダウン」を選択すると、シャットダウンを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。このとき［∨］を押すと、シャットダウンが実行されます。

シャットダウンが実行されたあとはデータ受信もパネル操作も行えない状態になります。再度プリントする場合は、電源を入れなおしてください。

●動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えてプリントします。

自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、セットアップメニューの拡張機能グループの「タイムアウト」（→ P.3-7）を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから15秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

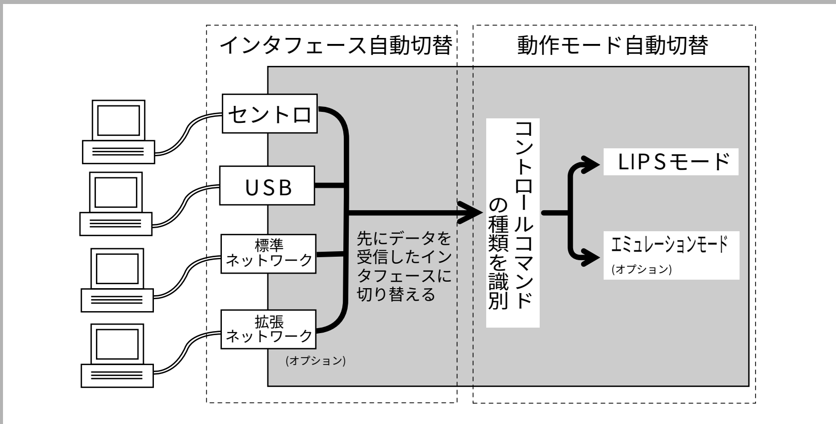
また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

1.インタフェースを切り替える

　データを先に受信したインタフェースに自動的に切り替えます。

2.動作モードを切り替える

　受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。



優先エミュレーションメニューの設定項目

優先エミュレーション*

LIPS、ナシ、エミュレーション

* オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

優先エミュレーションメニューでは、動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

LIPS（LIPSモード）

LIPSモードを優先エミュレーションにします。

ナシ

優先エミュレーションを設定しません。

コントロールコマンドを識別できなかった場合は、以前の動作モードで引きつづき処理をします。

エミュレーション

オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。コントロールROMのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニューでは、プリンタ内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報をプリントすることができます。

メモ
- 共通ステータスプリント、共通フォントリスト、共通テストプリント、標準N/W プリントの出力サンプルについては、「動作モード共通のリスト」（→P.6-10）をご覧ください。LIPSのステータスプリントとフォントリストの出力サンプルについては、「動作モード専用のリスト」（→P.6-12）をご覧ください。
- 各リストは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。
- 共通ステータスプリントは、用紙サイズに合わせて拡大／縮小されます。
- 共通ステータスプリント以外のリストは、A4 サイズの用紙にプリントすることをおすすめします。A4 サイズ以外の用紙を使用すると、画像が欠けたり、余白があいたりします。

ステータスプリント（共通ステータスプリント）

ー

搭載しているメモリ（RAM）の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

フラッシュメモリ *

ー

* オプションのフラッシュメモリが装着されている場合にのみ表示されます。

オプションのフラッシュメモリの内容消去を行います。

ユーティリティメニューで「フラッシュメモリ」を選択してから「フォーマット」を選択します。

エミュレーションのユーティリティ *

ー

* オプションのコントロールROM が装着されていて、「動作モード」の項目が「ジドウ　センタク」またはオプションのエミュレーションに設定されている場合にのみ表示されます。

コントロール ROM のエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

詳しい内容はオプションのコントロール ROM に添付の取扱説明書をご覧ください。

LIPSユーティリティ（LIPS専用ユーティリティ）

ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント

*「動作モード」の項目が「ジドウ　センタク」または「LIPS」に設定されている場合にのみ表示されます。

LIPSモードでのプリンタの内部情報をプリントします。

ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に、LIPS専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォントリスト

LIPSモードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

オーバレイリスト

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。

マクロリスト

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所（RAM、オプションROMなど）を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません

フォームリスト

フォーム領域に登録されているフォームデータとキャッシュ機能によって保持されているフォーム画像の名称、保存されている場所（RAM）、登録サイズなどを一覧にしてプリントします。登録されているフォームデータ、フォーム画像がない場合は、何もプリントされません。

オーバレイプリント

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS専用セットアップメニューのオーバレイ1、2に設定されている番号のオーバレイの内容がプリントされます。オーバレイ1、2ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。

フォントリスト（共通フォントリスト）

－

本プリンタに搭載されているフォントのID番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ
- 各エミュレータ内でのみ登録されるフォントは出力されません。

クリーニング用紙

ー

プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。給紙カセットまたは給紙トレイにA4サイズまたはレターサイズを横置きでセットし、「クリーニング　ヨウシ」を実行します。

クリーニング実行

ー

プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙の印字面を上にして、矢印が奥側に向くように給紙トレイにセットし、「クリーニング　ジッコウ」を実行すると、クリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。

メモ
- 定着ローラのクリーニング操作については、「定着ローラを清掃する」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。

MPローラクリーニング

ー

給紙トレイの給紙ローラの清掃を行います。

重要
- 給紙トレイの給紙ローラの清掃を行うときは、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

標準N/Wプリント

ー

本プリンタに標準で搭載されているネットワークボードのバージョン、設定内容などがプリントされます。

拡張I/Fプリント*

ー

* オプションの拡張ネットワークボードが装着されている場合にのみ表示されます。

オプションで装着した拡張ネットワークボードの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

HDユーティリティ *

フォーマット1、フォーマット2

* オプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクの内容消去を行います。

ユーティリティメニューで「HD ユーティリティ」を選択してから「フォーマット1」または「フォーマット2」を選択します。

フォーマット1

ハードディスクのクイックフォーマットを行います。ハードディスクに異常が発生した場合に実行します。

フォーマット2

ハードディスクの通常のフォーマットを行います。処理に数十分かかります。フォーマット1でも異常が解消しなかった場合に実行します。

セキュアプリント*

－

* オプションのハードディスクが装着されていて、セキュアプリントデータがある場合にのみ表示されます。

セキュアプリントのデータをプリントします。

セキュアプリントとは、あらかじめパソコン側でデータに設定しておいたドキュメント名、ユーザ名、パスワードを、プリンタの操作パネルで指定してプリントする機能です。本項目でドキュメント名やユーザ名、パスワードを指定しないとプリントできないので、ひとに見られたくないデータをプリントするときなどに便利な機能です。

本項目の操作の手順は次のとおりです。

1.ユーティリティメニューで「セキュア　プリント」を選択します。
　パソコン側であらかじめ設定してあるユーザ名が表示されます。
2.該当するユーザ名を選択します。
　パソコン側であらかじめ設定してあるドキュメント名が表示されます。
3.該当するドキュメント名を選択します。
4.パスワードを入力します。
　データがプリントされます。

メモ

- パスワードは、数字のみ1文字以上7文字までで設定されています。本項目では、操作パネルで［>］や［<］を押して数字を選んでから［∨］を押すと、1文字指定されます。これを繰り返してパスワードのすべての数字を指定します。パスワードが6文字以内の場合、最後の数字を指定したあと、［∨］をもう一度押すとプリントされます。7文字の場合は、最後の数字を指定した時点でプリントされます。
- ドキュメント名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。

- セキュアプリントのデータは、プリントしたあと自動的に消去されます。また、電源を切るかハードリセットやソフトリセット操作を行うと消去されます。
- 一定時間が経過すると、プリントされていないセキュアプリントデータを自動的に消去することができます。消去時間の設定は、共通セットアップメニューの機能拡張グループの「セキュアプリント消去」（→P.3-12 ）で行います。

給紙選択メニューの設定項目

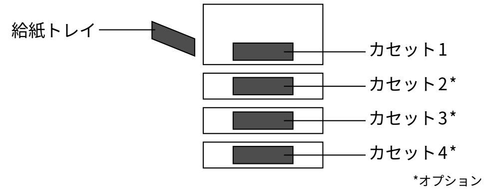
給紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙するかや、給紙トレイにセットする用紙サイズを設定することができます。

給紙モード

ジドウ、カセット1、カセット2*、カセット3*、カセット4*、トレイ

*「カセット2」、「カセット3」、「カセット4」は、オプションの250枚ペーパーフィーダPF-65を装着している場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。



メモ

- 装着している給紙カセット、給紙トレイは、通常は自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。（→自動選択：P.3-15）
- 自動給紙選択で、2つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット1が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 給紙トレイから給紙する場合は、セットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時はA4サイズに設定されていますが、それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、「トレイ用紙サイズ」（→P.5-14）でトレイ用紙サイズを設定してください。
- 給紙カセットにA4サイズの用紙をセットするときの置きかたは、「用紙の向き」（→P.3-14）の設定と合わせるか、または「ジドウ」に設定してください。
- 給紙トレイにA4／A5／B5／レター／エグゼクティブサイズの用紙をセットするときの置きかたは、「用紙の向き」（→P.3-14）の設定と合わせるか、または「ジドウ」に設定してください。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウY4、フウトウY2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的に検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、オンラインキーを押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形4号に、「フウトウ　Y2」は洋形2号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。詳しくは、「用紙について」（→ユーザーズガイド）をご覧ください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-13）でも同様の設定ができます。

付録

6
CHAPTER

動作モードメニュー、ユーティリティメニューから出力できるリストの内容などについて説明します。

文字セットコード表とコントロールコマンドリストについて

文字セットコード表

本プリンタ内蔵フォントのコード表（LIPS）が、本プリンタ付属のCD-ROMの［FONTLIST］フォルダに収められています。詳しくは、［FONTLIST］フォルダ内の Readme ファイルをご覧ください。

コントロールコマンドリスト

本プリンタが標準で対応している LIPSコントロールコマンドの機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属の CD-ROM の［COMLIST］フォルダに［LIPSCONT.TXT］というファイル名で収められています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

メモ
- LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」をご覧ください。

LIPS内蔵フォント

文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

■ 書体

書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「Garland（ガーランド）」など多数の種類があります。

■ グラフィックセット

あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。

■ 文字ピッチ

文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。

■ サイズ

文字の大きさを文字の高さで示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。

■ スタイル

スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。

■ 太さ

文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」があります。

LIPS II+内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。
例）ALP10.XXX→ALP10.ROMA

■ 1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10.XXX	ROMA　N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15.XXX	N_JPN　KATA	15.00	7.20		
	ALP1125.XXX		11.25	9.60		
明朝体	A1224M.XXX	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M.XXX	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040M.XXX	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M.XXX	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216M.XXX	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020M.XXX		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G.XXX	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G.XXX	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040G.XXX	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G.XXX	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216G.XXX	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020G.XXX		6.00	6.00		
Garland	Garland10.XXX	ROMA　N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12.XXX	N/USA　N/GER	12.00			
	Garland17.XXX	N/SWD　N/JPN	17.15			
	GarlandPS11.XXX	N/UK　N_UK	プロポーショナル			
		N_USA　N_SWD				
		N_JPN　N_GER				
		N_KATA　N_HIRA				
		N_GRF				

■ 2バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M.XXX	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M.XXX		7.50	9.60		
	K40M.XXX		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G.XXX		10.00	7.20		
	K32G.XXX		7.50	9.60		
	K40G.XXX		6.00	12.00		

LIPS III／IV内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例）Ncourier10.XXX→Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「*①〜⑥」については、次ページの表をご覧ください。

■ 1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 .XXX	*①②③④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I.XXX				イタリック	
	Ncourier10 B.XXX				直立体	ボールド
	Ncourier15 .XXX	*①②③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 .XXX	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20 .XXX	*①②③	20.00	7.2		
		*④	13.60	8.16		

■ 1バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier .XXX	*①②③⑤⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

メモ

- 1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「*①～⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R Win98R TURKISH
⑥	PSR PSL

■ 2バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

ダンプリスト

ヘキサダンプリスト

動作モードメニューで「HEX-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードでプリントします。

1行に32バイトの16 進コードを印字します。16進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみプリントできます。

操作方法については、「動作モードメニューの機能と操作」（→ P.2-7）をご覧ください。

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8､V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ..........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	...........................%........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

6

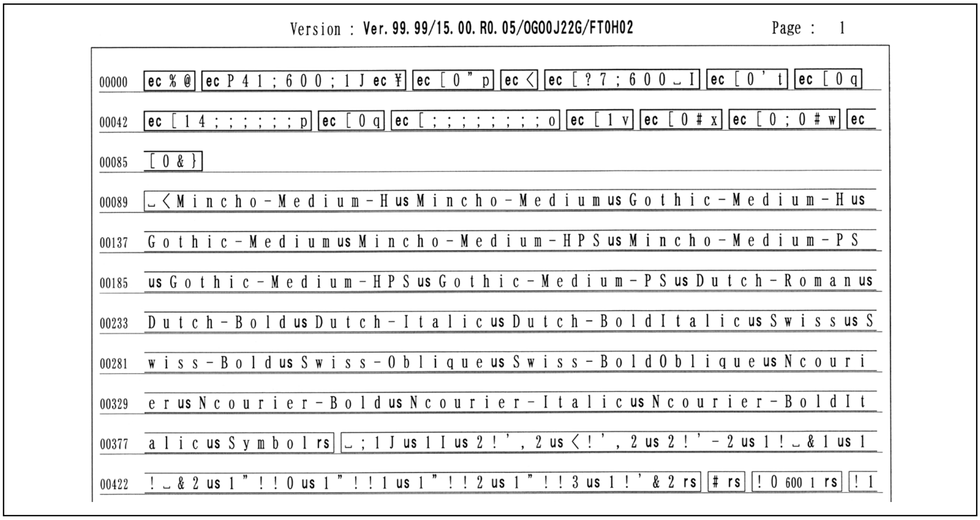
付録

LIPSダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。

現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントします。

操作方法については、「動作モードメニューの機能と操作」（→P.2-7）をご覧ください。



```
Version : Ver.99.99/15.00.R0.05/OG00J22G/FT0H02          Page :  1

00000 ec%@ ecP41;600;1Jec¥ ec[0"p ec< ec[?7;600␣I ec[0't ec[0q
00042 ec[14;;;;;;p ec[0q ec[;;;;;;;;o ec[1v ec[0#x ec[0;0#w ec
00085 [0&}
00089 ␣<Mincho-Medium-HusMincho-MediumusGothic-Medium-Hus
00137 Gothic-MediumusMincho-Medium-HPSusMincho-Medium-PS
00185 usGothic-Medium-HPSusGothic-Medium-PSusDutch-Romanus
00233 Dutch-BoldusDutch-ItalicusDutch-BoldItalicusSwissusS
00281 wiss-BoldusSwiss-ObliqueusSwiss-BoldObliqueusNcouri
00329 erusNcourier-BoldusNcourier-ItalicusNcourier-BoldIt
00377 alicusSymbolrs ␣;1Jus1Ius2!',2us<!',2us2!'-2us1!␣&1us1
00422 !␣&2us1"!!0us1"!!1us1"!!2us1"!!3us1!'&2rs #rs !0 600 1 rs !1
```

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号

| ：lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、またはff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例：lf|）

異常終了を知らせる記号

! ：命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

```
                 !
00000  ec[  ec[ 5 m  A B C D
```

LIPSダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

上位 下位	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードのLIPSダンプリスト

命令は全角文字で印字されます。

パラメータは10進コードで、文字パターンは16進コードでそれぞれ印字されます。

パラメータが２つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード20h（16進コード）は「␣」、文字コードA0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。

【例】 改ページ→ff　　FFh（16進コード）→FF

6 付録

動作モード共通のリスト

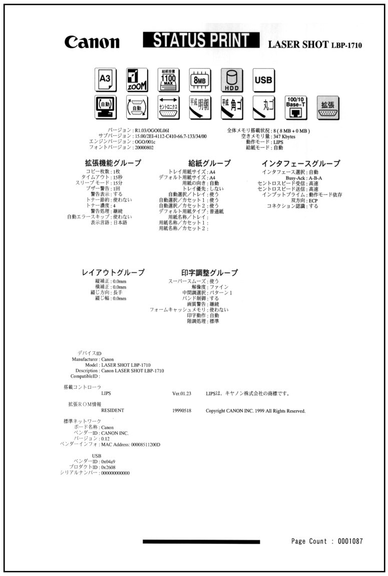
共通ステータスプリント

搭載しているメモリ（RAM）の容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

● 操作方法

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
4. ［リセット/実行］を押して出力します。

共通フォントリスト



本プリンタに搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

● 操作方法

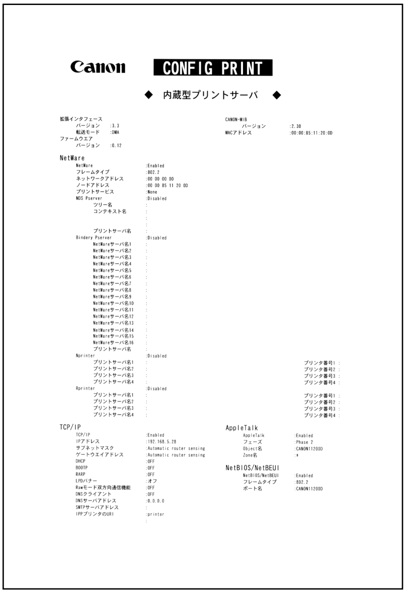
1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「フォントリスト」を表示します。
4. ［リセット/実行］を押して出力します。

標準N/Wプリント

標準で装着されているネットワークボードのバージョン、設定内容などがプリントされます。

● 操作方法

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「ヒョウジュンＮ／Ｗプリント」を表示します。
4. ［リセット / 実行］を押して出力します。



CONFIG PRINT

◆ 内蔵型プリントサーバ ◆

拡張インタフェース
バージョン :3.3
転送モード :DMA
ファームウエア
バージョン :0.12

CANON-MIB
バージョン :2.30
MACアドレス :00:00:85:11:20:0D

NetWare
NetWare :Enabled
フレームタイプ :802.2
ネットワークアドレス :00 00 00 00
ノードアドレス :00 00 85 11 20 0D
プリントサービス :None
NDS Pserver :Disabled
ツリー名 :
コンテキスト名 :
:
:
プリントサーバ名 :
Bindery Pserver :Disabled
NetWareサーバ名1 :
NetWareサーバ名2 :
NetWareサーバ名3 :
NetWareサーバ名4 :
NetWareサーバ名5 :
NetWareサーバ名6 :
NetWareサーバ名7 :
NetWareサーバ名8 :
NetWareサーバ名9 :
NetWareサーバ名10 :
NetWareサーバ名11 :
NetWareサーバ名12 :
NetWareサーバ名13 :
NetWareサーバ名14 :
NetWareサーバ名15 :
NetWareサーバ名16 :
プリントサーバ名 :
Nprinter :Disabled
プリントサーバ名1 : プリンタ番号1 :
プリントサーバ名2 : プリンタ番号2 :
プリントサーバ名3 : プリンタ番号3 :
プリントサーバ名4 : プリンタ番号4 :
Rprinter :Disabled
プリントサーバ名1 : プリンタ番号1 :
プリントサーバ名2 : プリンタ番号2 :
プリントサーバ名3 : プリンタ番号3 :
プリントサーバ名4 : プリンタ番号4 :

TCP/IP
TCP/IP :Enabled
IPアドレス :192.168.5.28
サブネットマスク :Automatic router sensing
ゲートウエイアドレス :Automatic router sensing
DHCP :OFF
BOOTP :OFF
RARP :OFF
LPDバナー :オフ
Rawモード双方向通信機能 :OFF
DNSクライアント :OFF
DNSサーバアドレス :0.0.0.0
SMTPサーバアドレス :
IPPプリンタのURI :printer
:

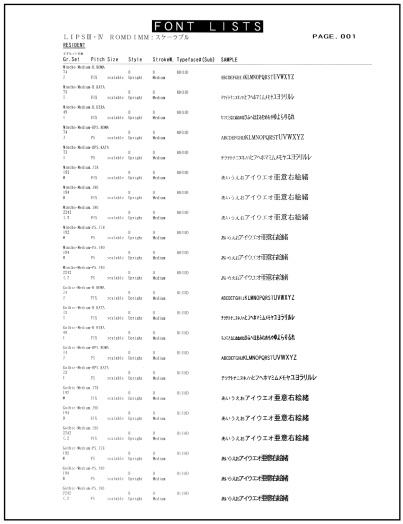
AppleTalk
AppleTalk :Enabled
フェーズ :Phase 2
Object名 :CANON11200D
Zone名 :*

NetBIOS/NetBEUI
NetBIOS/NetBEUI :Enabled
フレームタイプ :802.2
ポート名 :CANON11200D

6 付録

動作モード専用のリスト

LIPSステータスプリント

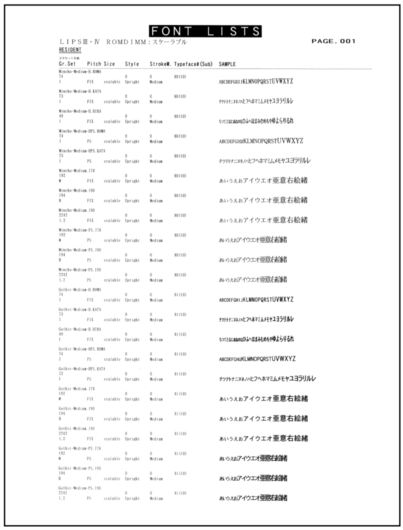

FONT LISTS
LIPSⅢ・Ⅳ ROMDIMM:スケーラブル
PAGE. 001
RESIDENT
Gr.Set Pitch Size Style Stroke#. Typeface#(Sub) SAMPLE

共通ステータスプリントの内容に加えて、LIPS専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

● 操作方法

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［∨］を押して、「LIPS　ユーティリティ」の専用セットアップメニューに移ります。
5. ［>］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［リセット/実行］を押して出力します。

LIPSフォントリスト


FONT LISTS
LIPSⅢ・Ⅳ ROMDIMM:スケーラブル
PAGE. 001
RESIDENT
Gr.Set Pitch Size Style Stroke#. Typeface#(Sub) SAMPLE

LIPSモードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

● 操作方法

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［∨］を押して、「LIPS　ユーティリティ」の専用セットアップメニューに移ります。
5. ［>］を押して「フォントリスト」を表示します。
6. ［リセット/実行］を押して出力します。

メモ
- この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPSオーバレイリスト」、「LIPSマクロリスト」、「LIPSフォームリスト」、「LIPSオーバレイプリント」がプリントできます。

本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作のしかたやプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来LIPS IIIシリーズとの違いについて

＊従来LIPS IIIシリーズとは、LBP-A309G II、A304G II、A304E II、A304E、B406G II、B406G、B406E II、B406E、B406S、B406D、A404F、A404G II、A404E、A404、A405Jrです。

フォント

- 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990で追加された２文字（コード7425および7426）を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来の JBM1 フォントカード相当など、追加されたフォントがあるため LIPS モードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントでプリントされることがあります。

データ処理解像度

- 従来のシリーズでは300dpi／240dpiで入力データを処理していましたが、本プリンタでは600dpi／300dpiで処理をしています。このため、プリント結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS／エミュレーション各モードでの主な注意点は下記の各モードの注意点をご参照ください。
- 本プリンタはファインモード／クイックモードの２種類のデータ処理解像度が指定できます。ファインモードを指定したときに、メモリが不足した場合など描画結果をクイックモードに変換してプリントします。

描画処理の違い

- 図形や文字のプリントの描画処理が効率化・統合化などのために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かなプリント結果やスピードに違いが出ることがあります。

メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。
- 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしており LIPS でもエミュレーションでもひとつのプリント単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了するとプリント環境などが初期化されます。

インタフェース関連

- 従来のシリーズではME-CARD以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでセントロニクス以外のインタフェースも使用して切り替えることができます。ただし、5577／359／5273エミュレーションなどでホスト側で固有のインタフェースを必要とする場合は、自動インタフェース切り替え・動作モード自動切り替えをオフにする必要があります。詳しくは各エミュレーションの取扱説明書をご覧ください。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

6

付録

メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

オプションのメモリなど

- 従来シリーズの拡張メモリ（RAM）、コントロールROM、拡張ネットワークボードは使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

LIPS IIIモード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、プリント時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ・ファインモードでは600dpiでデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m四方から半分の約2.8m四方になります。
  - ・600dpiでプリントされるため、罫線などの太りかたやパターンなどに微妙な違いが出ることがあります。
  - ・メモリの不足などで 600dpi で処理できない場合に300dpi に変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。

LIPS IIモード

- 従来シリーズではLIPS　IIモードは240dpiで処理されていましたが、本プリンタでは600dpi／300dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。
  - ・イメージデータや文字登録データなど240dpiのドットパターンは600dpi／300dpiに自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。
  - ・従来240dpiで印字位置を処理していたのに対し、600dpi／300dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
  - ・ベクタモードの座標範囲はLIPS　IIIでのファインモードの注意に加えてクイックモードでも80%の大きさ（約6.9m四方→約5.5m四方）となります。
- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときにプリント結果が異なることがあります。

従来LIPS IVシリーズとの違いについて

＊従来LIPS IVシリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930などです。

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。
- ファインモードに設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して600dpiの解像度が保てず、300dpiに落としてプリントすることがあります。この場合、最初からクイックモードに設定して300dpiでプリントする場合と画質が異なります。
- オプションのコントロールROMをご利用になる場合、必ず本プリンタに対応のもの（CR-MES）をお使いください。従来LIPS IVシリーズにのみ対応しているオプションのコントロールROMは、本プリンタでは使えません。

LIPS IVc搭載のカラーBJとの違い

- LIPS IVはLIPS IVcを包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
  - ・カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンタは600dpi／300dpiで処理するためプリント結果の見た目が異なることがあります。
  - ・カラーBJとは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。
  - ・本プリンタはモノクロのプリンタなので、冗長な色情報が含まれているカラープリント用のデータは効率的ではありません。一般的にカラープリントとモノクロプリントを指定できる場合は、モノクロプリントを選択することをおすすめします。また、本プリンタ専用ドライバが選択できる場合はそちらを選択してください。

本プリンタの制限事項

- 本プリンタで、動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能な環境は以下のとおりです。エミュレーションモードの種類によっては、独自のインタフェース処理を行っているため、自動切り替えができない場合があります。

動作モード ＼ インターフェース	セントロニクスインターフェース		USB	標準ネットワーク	拡張ネットワーク*
	直結パソコン	プリントサーバアダプタ*			
LIPS	○	○	○	○	○
N201*	○	○	○	○	○
ESC/P*	○	○	○	○	○
I5577*	△	○	○	○	○
F359*	△	○	○	○	○
N5273*	△	○	○	○	○
HP-GL*	○	○	○	○	○

「＊」印がついているものには、オプション製品が必要です。

○： 動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能です。
△： 動作モード自動切り替えもインタフェース自動切り替えも行えないことがあります。その場合は、自動切り替えを設定せずに、選択している動作モードとインタフェースに固定させてお使いください。

- LIPS メニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+モード用ユーザ登録文字セットおよびビットマップフォント Garland PS11 ／ALP10 ／ALP15／ALP1125 は印字されないことがあります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合、2 バイト和文プロポーショナルフォント（Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX）は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用する拡張ネットワークボードによっても異なります。
- 本プリンタでは、2 ページ印刷時のページの向きを左とじ代側に揃えているため、ポートレートとランドスケープの混在はできません。

索引

英数字

あ

か

6

付録

さ

た

は

6
付録

ま

や

ら

わ

6
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ 情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ キヤノンＦＡＸ 情報サービス

札幌（011）728-0485	秋田（018）826-0441	仙台（022）211-5730
東京（03）3455-5962	名古屋（052）936-0758	大阪（06）4795-9011
広島（082）240-6729	高松（087）826-1621	福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作してください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報 BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

■ @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「電子会議」の「【プリンタ　LASERSHOT】インフォメーション」内に掲載されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ インターネット：キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)

キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスを クリックしてください。

■ @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGO コマンド「SCANON」と入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。NIFTY-Serveの通信料金のみでダウンロードすることができます。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX 情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDが異なります。

Memo

キリトリ線

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当するMAP AからMAP Cをご覧ください。

MAP A 共通セットアップメニューを表示する

オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

セットアップ >

2. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。

   | セットアップ |

MAP B LIPS専用セットアップメニューを表示する

オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

セットアップ >

2. ［セットアップ］を押します。
   セットアップメニューが表示されます。

   | セットアップ |

ジョブキャンセル ユーティリティ <
セットアップ >

3. 「LIPS　セットアップ」を表示します。
   ［<］または［>］を押します。

   | ＬＩＰＳ　セットアップ　→ |

V リセット/実行

4. 下の階層へ進みます。
   ［V］を押します。
   LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

   | カクダイ／シュクショウ　→ |

MAP C 動作モードメニューを表示する

オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

動作モード Λ

2. ［動作モード］を押します。
   動作モードメニューが表示されます。

   | ドウサ　モード |

MAP C 優先エミュレーションメニューを表示する

オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

動作モード Λ

2. ［動作モード］を約3秒以上押します。
   優先エミュレーションメニューが表示されます。

   | ユウセン　エミュレーション　→ |

※優先エミュレーションメニューは、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示されます。

MAP C ユーティリティメニューを表示する

オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

ジョブキャンセル ユーティリティ <

2. ［ユーティリティ］を押します。
   ユーティリティメニューが表示されます。

   | ユーティリティ |

MAP C 給紙選択メニューを表示する

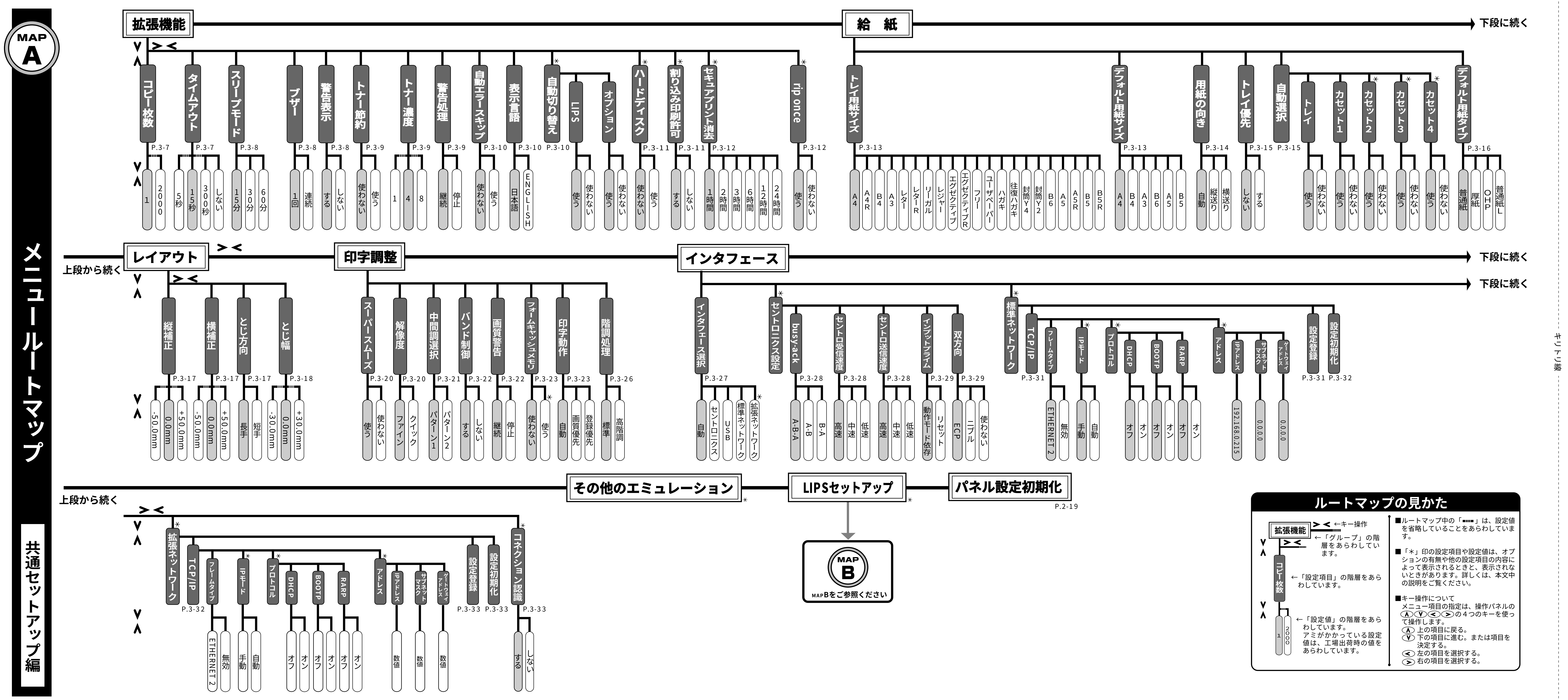
オンライン

1. ［オンライン］を押して、キーを消灯させます。

給紙選択

2. ［給紙選択］を押します。
   給紙選択メニューが表示されます。

   | キュウシ　モード　→ |



ルートマップの見かた

拡張機能 ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

←「設定項目」の階層をあらわしています。

←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

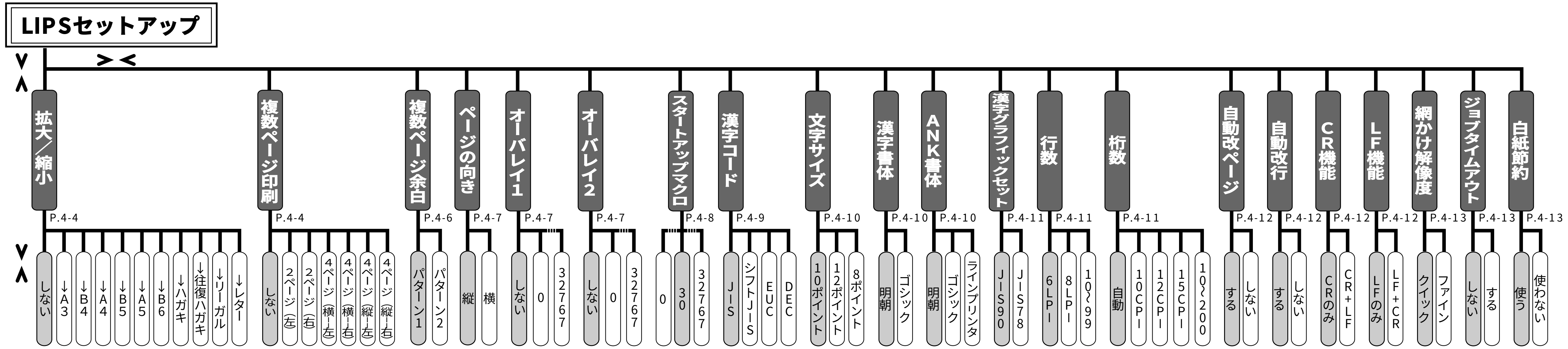
■ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

■「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

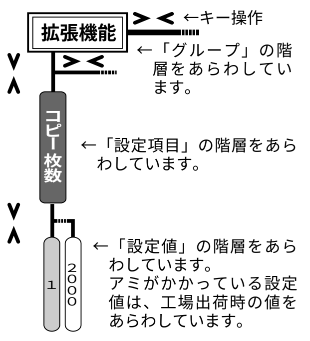
■キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの ∧ ∨ < > の４つのキーを使って操作します。
∧ 上の項目に戻る。
∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
< 左の項目を選択する。
> 右の項目を選択する。

メニュールートマップ

LIPS セットアップ編



ルートマップの見かた



■ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

■「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

■キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの(∧)(∨)(＜)(＞)の４つのキーを使って操作します。
(∧) 上の項目に戻る。
(∨) 下の項目に進む。または項目を決定する。
(＜) 左の項目を選択する。
(＞) 右の項目を選択する。

キリトリ線

MAP C

メニュールートマップ

その他のメニュー編

動作モードメニュー

動作モードメニューの機能と操作→P.2-7
動作モードメニューの設定項目→P.5-4

- **動作モード**
  - ■オプションのコントロールROMが装着されていない場合
    - LIPS
    - HEX-DUMP
    - LIPS-DUMP
    - シャットダウン＊
  - ■オプションのコントロールROMが装着されている場合
    - 自動選択
    - エミュレーション
    - LIPS
    - HEX-DUMP
    - LIPS-DUMP
    - シャットダウン＊

優先エミュレーションメニュー

優先エミュレーションメニューの機能と操作→P.2-9
優先エミュレーションメニューの設定項目→P.5-7

- **優先エミュレーション**＊
  - LIPS
  - なし
  - エミュレーション

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの機能と操作→P.2-11
ユーティリティメニューの設定項目→P.5-8

- **ステータスプリント**
- **フラッシュメモリ**＊
- **エミュレーションのユーティリティ**＊
- **LIPSユーティリティ**＊
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
- **フォントリスト**
- **クリーニング用紙**
- **クリーニング実行**
- **MPローラクリーニング**
- **標準N/Wプリント**
- **拡張 I/F プリント**＊
- **HDユーティリティ**＊
  - フォーマット1
  - フォーマット2
- **セキュア プリント**＊

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの機能と操作→P.2-16
給紙選択メニューの設定項目→P.5-13

- **給紙モード**
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2＊
  - カセット3＊
  - カセット4＊
  - トレイ
- **トレイ用紙サイズ**
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - エグゼクティブR
  - フリー
  - ユーザペーパー
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - B6
  - A5
  - A5R
  - B5
  - B5R

「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。
詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

キリトリ線

本書は、本文に
100%の再生紙を使用しています。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット **0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *1 です。

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043)211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2 は以下のとおりです。
月曜～金曜(祝日を除く):9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日(1/1～1/3は休み):10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-892AA　　012001SZXX

PRINTED IN JAPAN